

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-4

< 第34週 > 伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.5-7

< 腸管出血性大腸菌感染症 >  
第34週の報告数は169例で、第34週までの累積報告数は2,246例である



病原体情報  
P.8-11

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2006年 / 手足口病患者から検出されているウイルス 2006年



速報  
P.12-13

日本のAIDS患者・HIV感染者の状況 - エイズ動向委員会委員長コメント(要旨)



海外感染症情報

< 今週は該当記事はありません >



感染症の話  
P.14

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(34週)  
P.15-21



34週のデータ  
P.22-33



# 発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

## < 第34週コメント > 8月30日集計分

### 全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

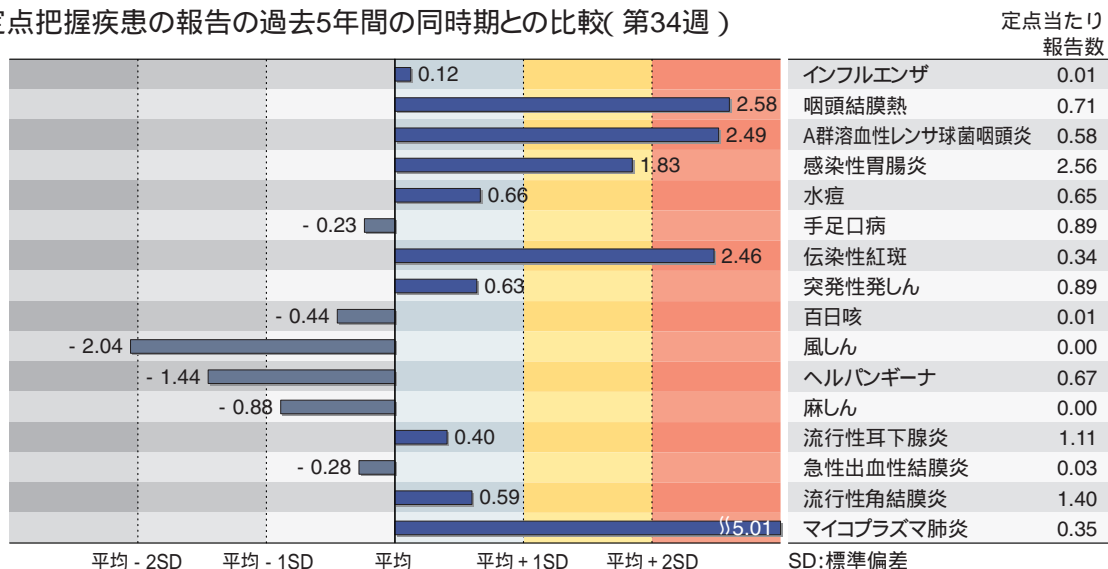
感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ 2例( 感染地域: とともに疑似症 )  
細菌性赤痢 24例  
( 感染地域: 埼玉県1例、千葉県1例、大阪府1例、山口県1例、熊本県1例、中国7例、インドネシア2例、カンボジア2例、ベトナム2例、エジプト2例、タイ1例、インド1例、ミャンマー1例、疑似症1例 )
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 169例( うち有症者125例、HUS 4例 )  
感染地域: 国内168例、英国1例  
国内の多い感染地: 大阪府( 12例 )、宮崎県( 10例 )、青森県( 9例 )、京都府( 9例 )、長崎県( 9例 )  
年齢群: 10歳未満( 77例 )、10代( 23例 )、20代( 26例 )、30代( 14例 )、40代( 9例 )、50代( 6例 )、60代( 9例 )、70歳以上( 5例 )  
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2( 80例 )、O157 VT2( 39例 )、O26 VT1( 26例 )、O26 VT1・VT2( 6例 )、O157 VT1( 2例 )、O145 VT2( 2例 )、O103 VT1( 1例 )、O111 VT1・VT2( 1例 )、O121 VT2( 1例 )、O18 VT1・VT2 + O157 VT1・VT2( 1例 )、その他/不明( 10例 )
- 4類感染症: E型肝炎 1例( 感染地域: 長野県、感染源: シカ肉の生食 )  
つつが虫病 1例( 感染地域: 長崎県 )  
日本紅斑熱 1例( 感染地域: 高知県 )  
マラリア 1例( 熱帯熱、感染地域: ガーナ )  
ライム病 1例( 感染地域: 岐阜県 )  
レジオネラ症 6例( 全て肺炎型 )  
年齢群: 40代1例、50代2例、70代2例、80代1例  
感染地域: 富山県2例、秋田県1例、新潟県1例、石川県1例( 温泉 )、和歌山県1例  
レプトスピラ症 1例( 感染地域: 東京都 )
- 5類感染症: アメーバ赤痢 5例( すべて腸管アメーバ症 )  
感染地域: 国内4例、中国1例  
感染経路: 経口1例、性的接触2例( 異性間1例、不明1例 )、不明2例
- ウイルス性肝炎 4例  
( すべてB型、感染経路: 鋭利なものの刺入1例、不明3例 )  
クリプトスポリジウム症 1例( 感染地域: 国内、感染源: 牛 )  
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例( 孤発性プリオン病古典型 )  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例( 血清群: C群、80代 )  
後天性免疫不全症候群 10例( 無症候8例、AIDS 2例 )  
感染地域: すべて国内  
感染経路: 性的接触9例( 異性間4例、同性間5例 )、不明1例
- ジアルジア症 4例  
( 感染地域: 国内2例、バングラデシュ1例、マーシャル諸島1例 )  
髄膜炎菌性髄膜炎 1例( 感染地域: 国内 )  
梅毒 4例( 早期顕症1期2例、早期顕症II期1例、無症候1例 )  
破傷風 3例( 50代1例、60代1例、70代1例 )  
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例  
( 遺伝子型: 不明、菌検出検体: 尿 )
- ( 補 )他に報告遅れとして、コレラ1例( 疑似症 )、細菌性赤痢1例( 感染地域: 中国 )、 Deng熱1例( 感染地域: フィリピン )、レジオネラ症1例( 肺炎型、感染地域: 栃木県( 温泉 ) )、急性脳炎2例( とともに病原体不明、0歳1例、70代1例 )、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例( 血清群: A群、80代 )、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例( 遺伝子型: VanC、菌検出検体: 血液 )などの報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関( 定点 )から報告され、疾患により小児科定点( 約3,000カ所 )、インフルエンザ( 小児科・内科 )定点( 約5,000カ所 )、眼科定点( 約600カ所 )、基幹定点( 約500カ所 )に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較( 第34週 )



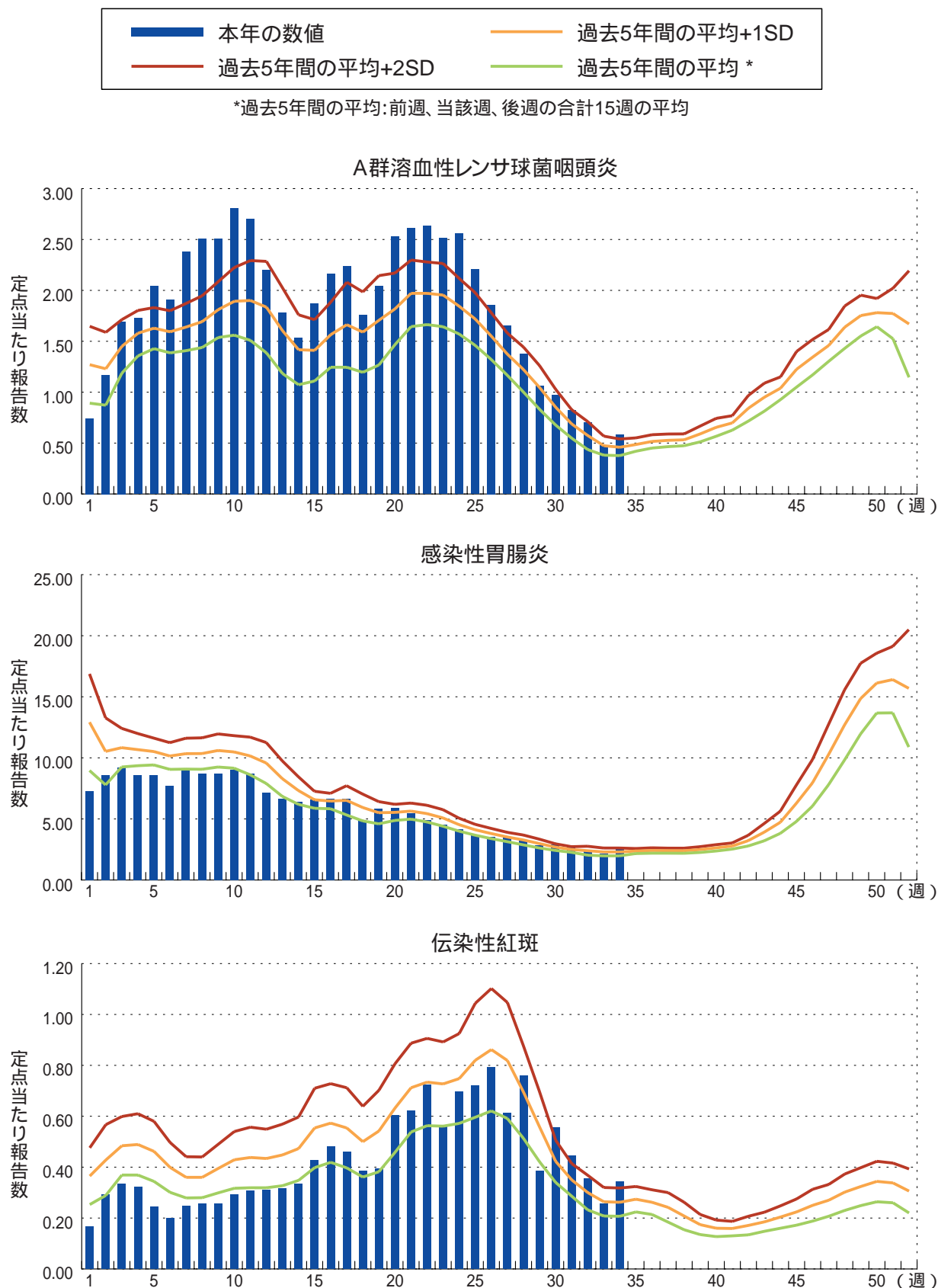
当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 )との差をグラフ上に表現した。

**インフルエンザ** : 定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では沖縄県( 0.40 )、宮崎県( 0.12 )、宮城県( 0.04 )、岐阜県( 0.04 )が多い。

**小児科定点報告疾患** : RSウイルス感染症は67例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の79%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第31週以降、減少が続いているが、過去5年間の同時期( 前週、当該週、後週 )と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では宮崎県( 2.1 )、長野県( 1.9 )、鳥取県( 1.7 )、大分県( 1.7 )が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県( 1.5 )、福島県( 1.2 )、山口県( 1.0 )、大分県( 1.0 )が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福井県( 6.7 )、大分県( 6.4 )、宮崎県( 5.4 )が多い。水痘の定点当たり報告数は3週連続して減少した。都道府県別では宮崎県( 1.3 )、愛媛県( 1.1 )、和歌山県( 1.0 )が多い。手足口病の定点当たり報告数は第31週以降、減少が続いている。都道府県別では新潟県( 3.3 )、石川県( 3.1 )、長野県( 3.0 )が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では愛知県( 0.81 )、宮城県( 0.79 )、岐阜県( 0.79 )が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では徳島県( 0.05 )、福岡県( 0.05 )が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では千葉県( 0.03 )、岡山県( 0.02 )が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第28週以降、減少が続いている。都道府県別では北海道( 2.1 )、青森県( 1.9 )、宮城県( 1.4 )が多い。麻しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では青森県( 0.02 )、埼玉県( 0.01 )、大阪府( 0.01 )、広島県( 0.01 )が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は第31週以降、減少が続いている。都道府県別では新潟県( 4.0 )、鹿児島県( 3.3 )、長野県( 2.5 )が多い。

**基幹定点報告疾患** : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続して減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大阪府( 1.70 )、青森県( 1.00 )、群馬県( 0.88 )が多い。成人麻しんは1例( 広島県 )の報告があった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較( 2006年第1 ~ 34週 )  
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。







## 注目すべき感染症

### 腸管出血性大腸菌感染症

2006年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は第15週( 27例 )から増加が認められ、第20週( 59例 )に50例を超え、第21 ~ 25週は80例前後で推移した。第26 ~ 29週は140例前後で推移した後、第30週( 237例 )には200例を超えた。第31 ~ 33週は155 ~ 190例で、第34週は169例である。本年第34週までの累積報告数は2,246例であるが、今までのところ例年( 2000年2,083例、2001年3,296例、2002年2,319例、2003年1,523例、2004年2,416例、2005年2,252例 )と比べ、特に多いとは言えない( 図1 )。

第34週に診断された169例についてみると、報告の多かった都道府県は神奈川県( 16例 )、大阪府( 15例 )、愛知県( 10例 )、青森県( 9例 )、千葉県( 9例 )、福岡県( 9例 )、長崎県( 9例 )であった( 図2a )。また2006年4月から、国内を感染地域とする場合に県名などの詳細情報を届け出るようになったが、第34週に感染地域として多かった都道府県は、報告の都道府県とほぼ同様で、大阪府( 12例 )、宮崎県( 10例 )、青森県( 9例 )、京都府( 9例 )、長崎県( 9例 )であった( 図2b )。このうち宮崎県の8例は第33週診断分として報告された1例とともに、また長崎県の7例は第33週診断分として報告された25例とともに、保育園における集団発生である。さらに、国外を感染地域とするものが1例( 英国 )みられた。性別では男性82例、女性87例であり、年齢階級別( 10歳毎 )では0 ~ 9歳( 77例 )が最も多く、46%を占めた。また有症状者は125例で、無症状病原体保有者が44例であった。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期検便によって発見される場合もあるが、多くは探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。分離された菌の血清型・毒素型別では、O157 VT1・VT2( 81例 )、O157 VT2( 39例 )、O26 VT1( 26例 )の順に多かった。

第1 ~ 34週の累積報告数2,246例についてみると、報告の多かった都道府県は大阪府( 193例 )、東京都( 162例 )、愛知県( 128例 )、福岡県( 120例 )、神奈川県( 107例 )である( 図3 )。性別では男性1,062例、女性1,184例であり、年齢階級別( 10歳毎 )では0 ~ 9歳( 928例 )が最も多く、41%を占めている。性別・年齢群別にみると、0 ~ 9歳及び10 ~ 19歳では男性が女性より多く、それ以上の年齢群では女性が男性より多い。また有症状者は1,493例( 66% )で、無症状病原体保有者が753例である。性別・年齢群別に症状の有無をみると、男女ともに、30 ~ 50代では無症状病原体保有者が多く、それ以外では有症状者が多い( 図4 )。分離された菌の血清型・毒素型では、O157 VT1・VT2( 951例 )、O26 VT1( 479例 )、O157 VT2( 475例 )の順に多かった。

溶血性尿毒症症候群( HUS )は報告遅れ分や追加報告を含み、第34週に4例の報告があり、累積では59例となった。2006年4月から、HUS発症例の届出は、病原体の分離ができない症例であっても、便から直接のベロ毒素の検出や、血清抗体の検出によって届出対象となった。59例のうち、便から直接のベロ毒素の検出によるものが1例、血清抗体の検出によるものが15例届け出られた。死亡については、第34週までに3例の報告があった。しかし、HUSなどの合併症や死亡については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、発生があった場合の追加・修正報告をお願いしている。

2006年も保育施設での集団発生が相次いで見られている他、飲食店や展示動物に関連した集団発生もみられている。今後も発生の多い状況が続くと予想され、その発生動向には注意が必要である。食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。また保育施設においては、特にオムツ交換時の手洗い、園児に対する食前の手洗い、排便後の手洗い指導を徹底する必要がある。

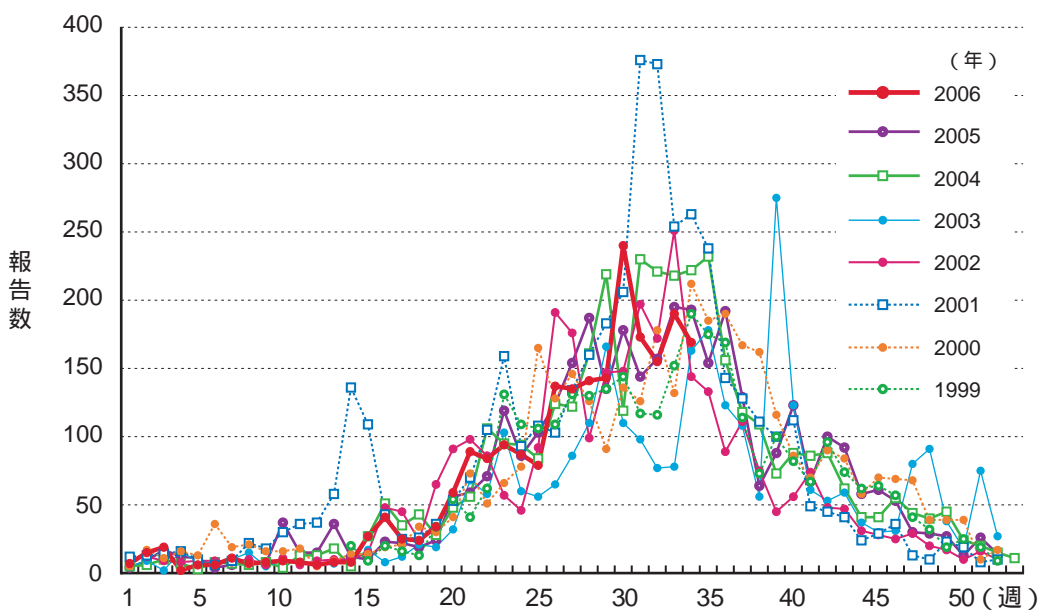


図1. 腸管出血性大腸菌感染症( 無症状病原体保有者含む )の年別・週別発生状況

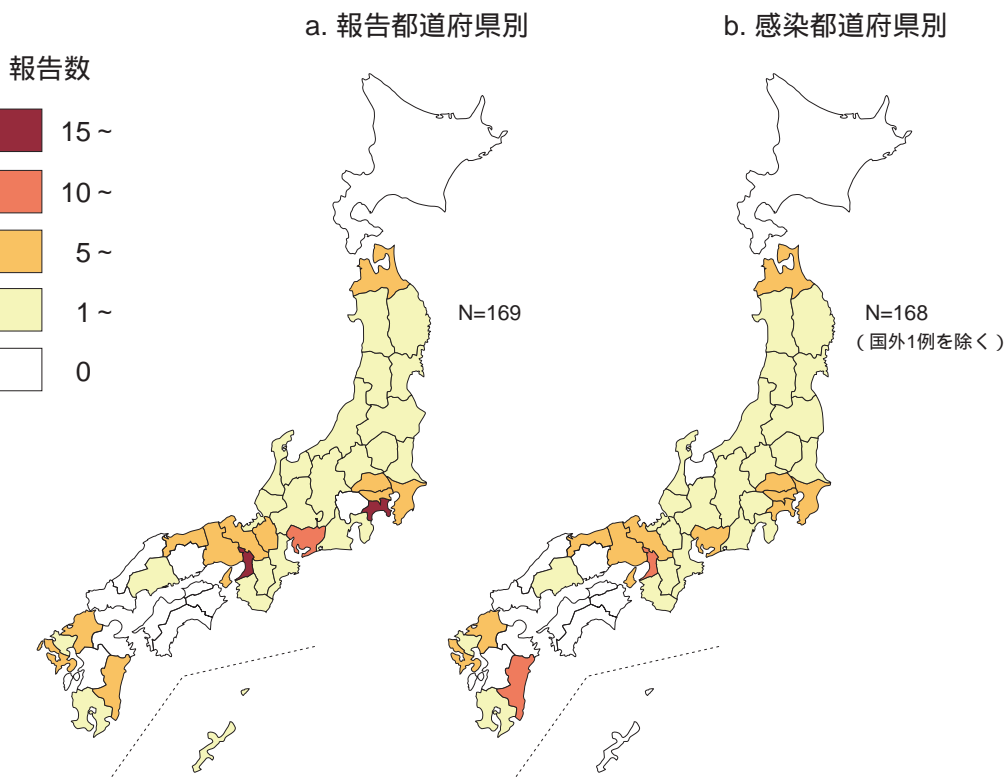


図2. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告・感染状況( 2006年第34週 )

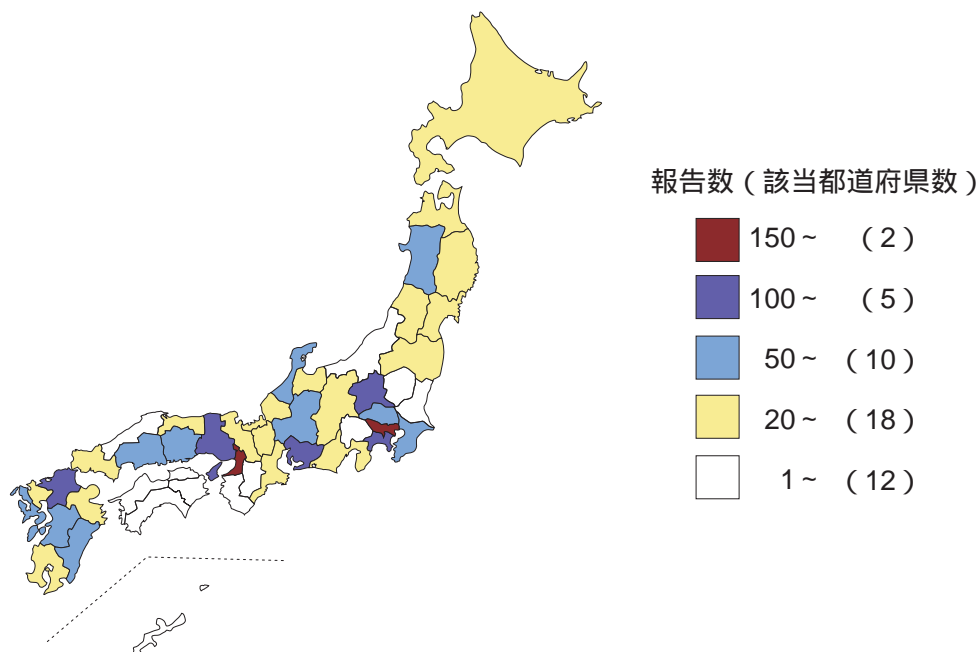


図3. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告状況( 2006年第1 ~ 34週 )

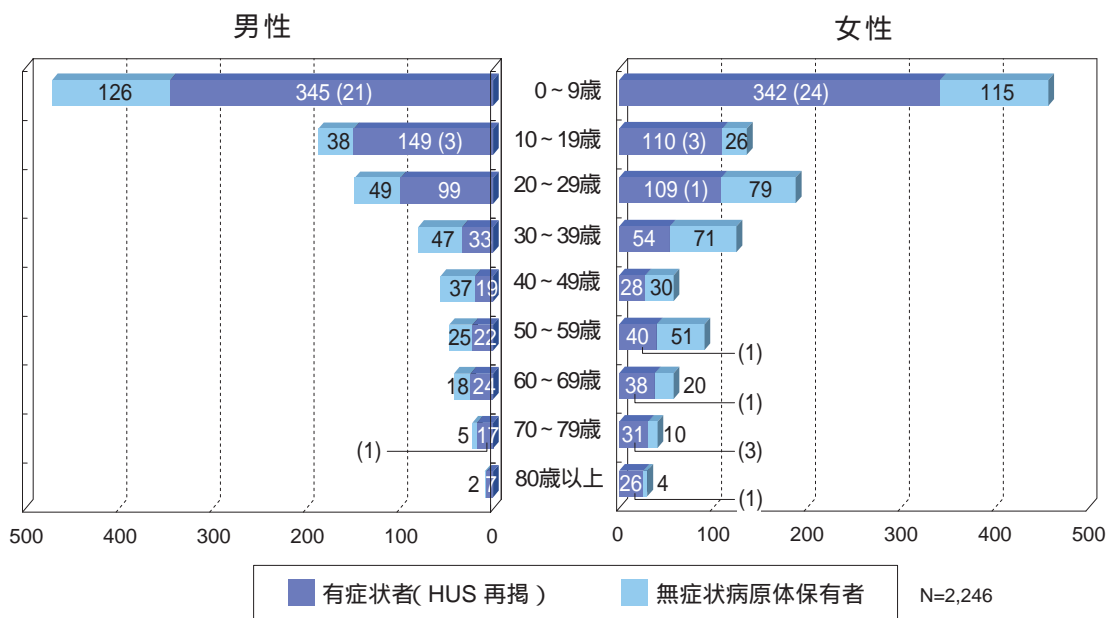


図4. 腸管出血性大腸菌感染症の性別・年齢群別・症状の有無別報告数( 2006年第1 ~ 34週 )



# 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所( 地研 )からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

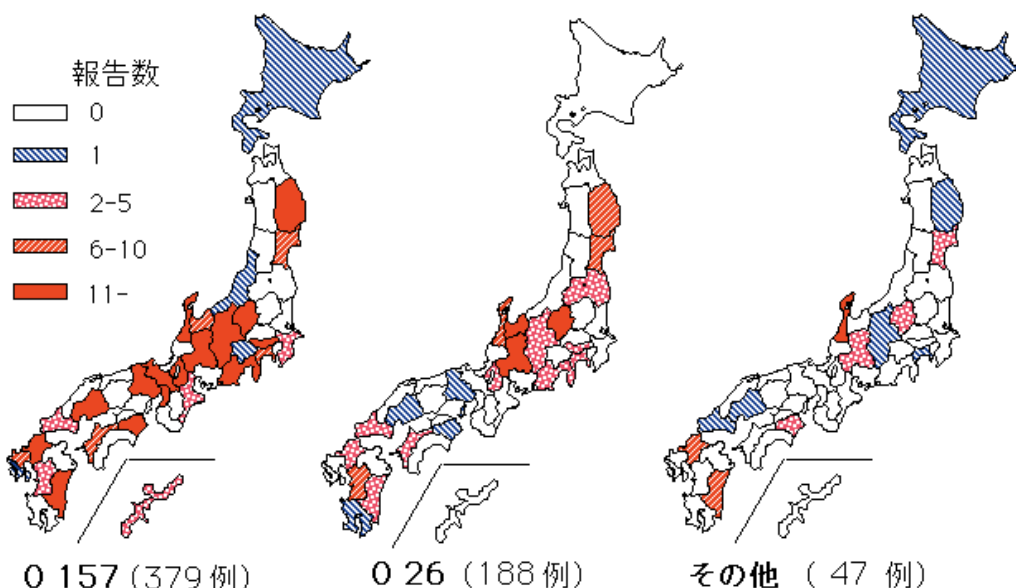
( 2006年8月31日現在報告分 )

## ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年

2006年の検出総数は614件で、O157が379件、O26が188件、その他の血清型が47件報告されている。O26による保育所での集団発生例が第24週と第27週に群馬県で( 前号速報参照 )、第30週に岐阜県で報告され、O157による3つの高校での集団発生例が第26週に福岡市で報告されている( 前号速報参照 )。

### 都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年

( 病原微生物検出情報 : 2006年8月31日現在報告数 )



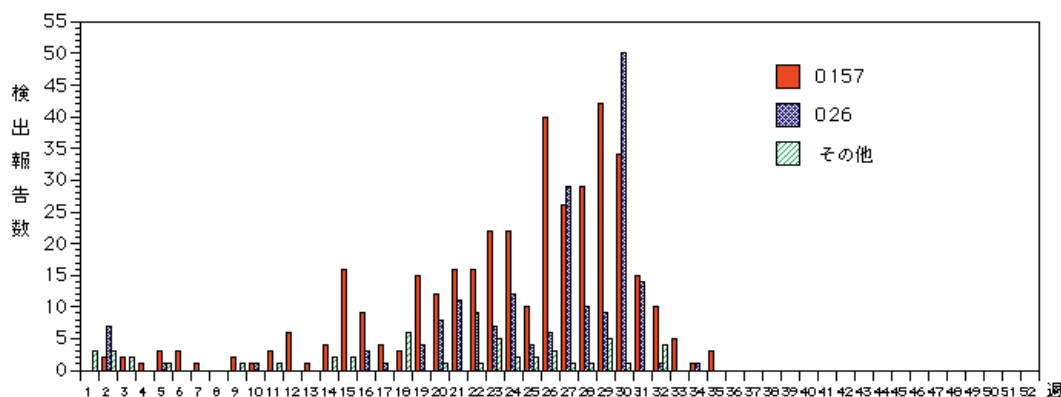
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

### 週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2006年

( 病原微生物検出情報 : 2006年8月31日現在報告数 )



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

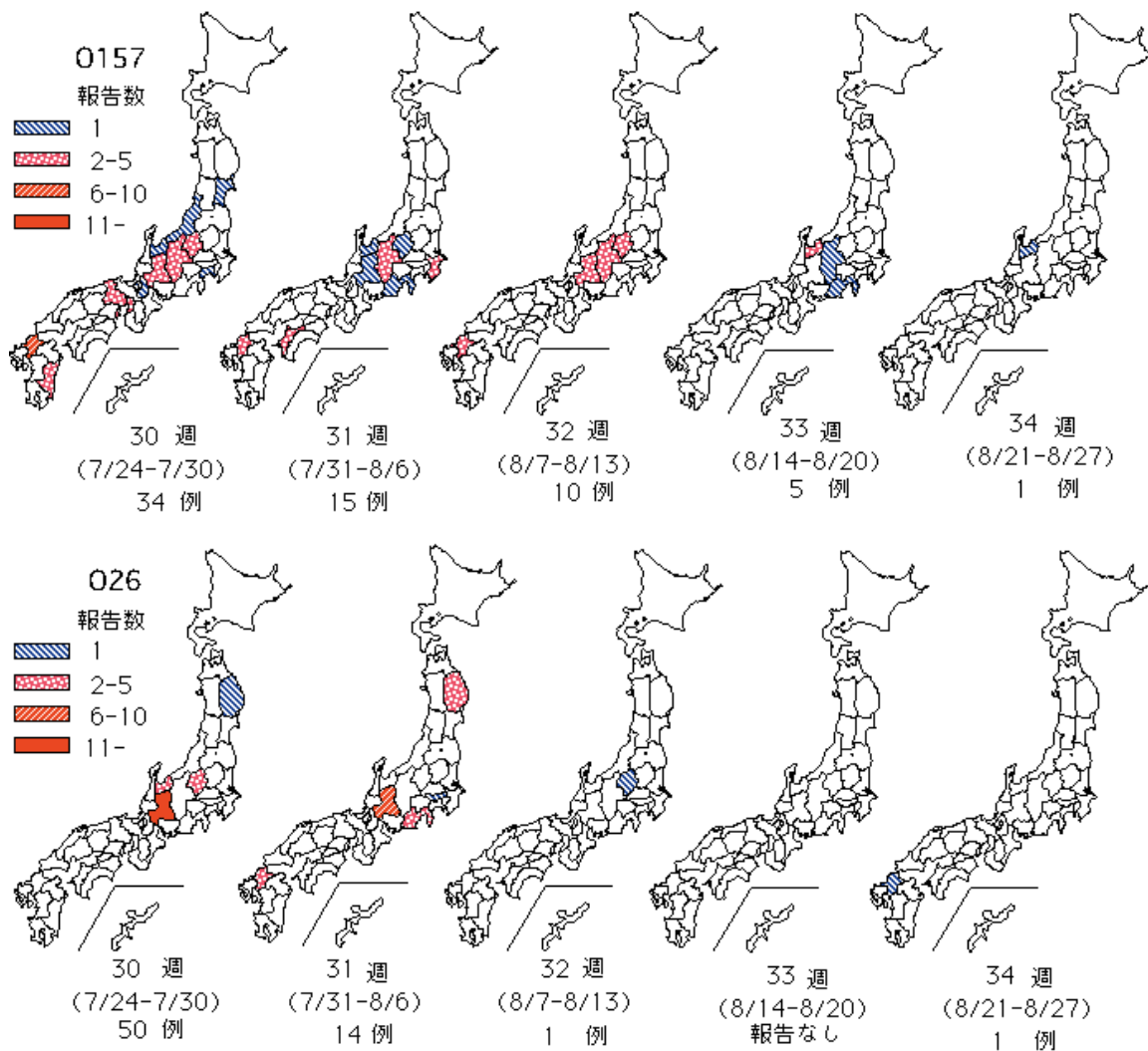


Infectious Agents Surveillance Report



都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年第30週～第34週

(病原微生物検出情報：2006年8月31日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。

**IASR**

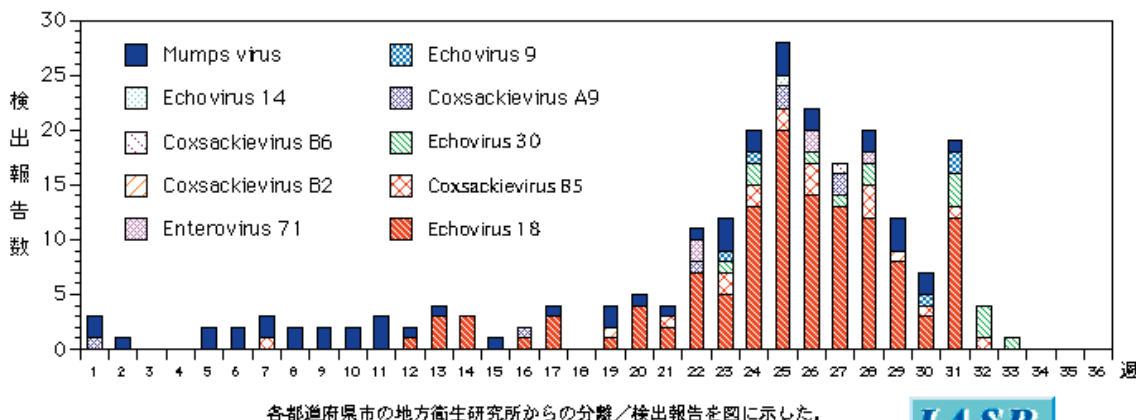
Infectious Agents Surveillance Report

**無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2006年**

2006年は第12週以降エコーウイルス18型(E18)の報告が続いている。E18が125件、ムンプスウイルスが45件、コクサッキーウイルス(C)B5が17件、E30が14件、CA9が7件、E9とエンテロウイルス71が各5件など、計242件が報告されている。第31~32週にE30による保育所での集団発生が兵庫県から報告されている。

**週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告数、2006年**

(病原微生物検出情報：2006年8月31日現在報告数)



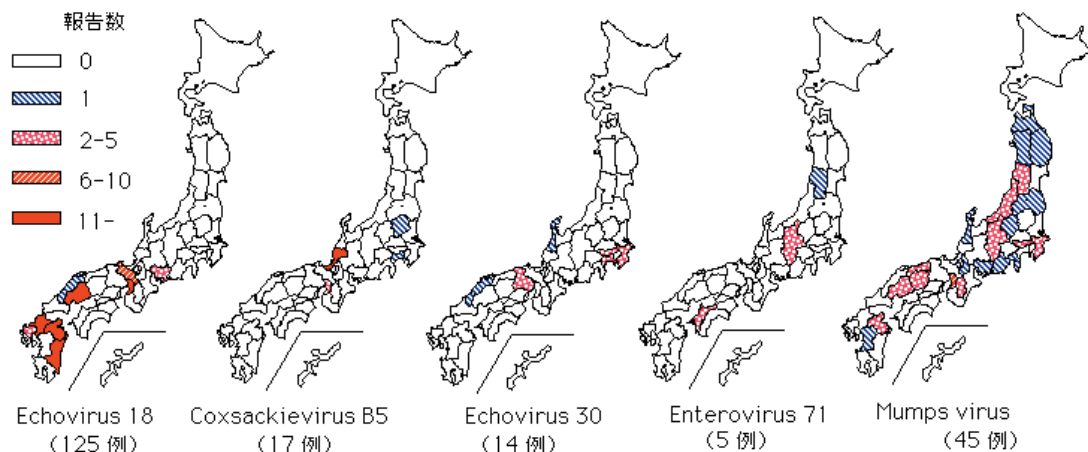
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

**都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告状況、2006年**

(病原微生物検出情報：2006年8月31日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

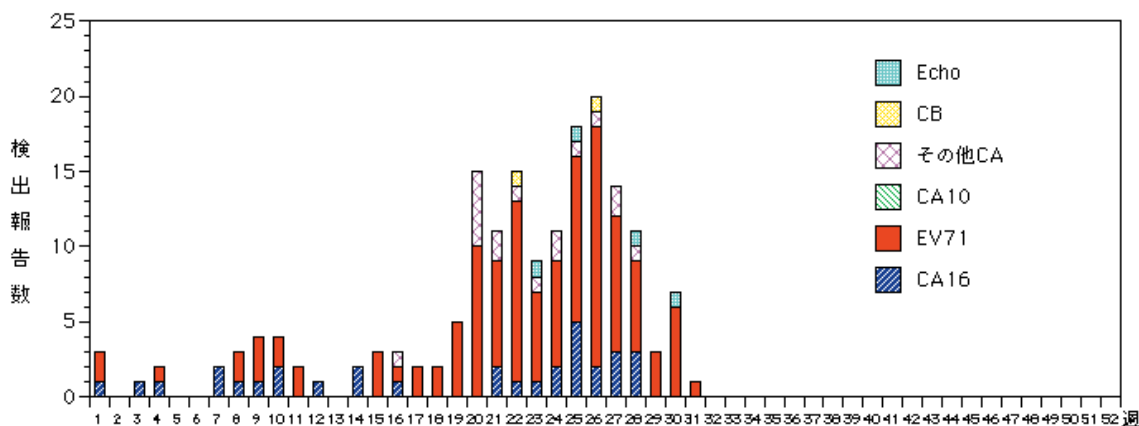
**手足口病患者から検出されているウイルス 2006年**

2006年は第15週以降エンテロウイルス71型( EV71 )の検出報告が継続しており、第19週以降、数も増加している。コクサッキーウイルス( C )A16の検出も第21 ~ 28週に報告されている。

EV71が119件、CA16が32件、その他のCAが17件報告されている。

**週別手足口病患者からのウイルス分離 - 検出報告数、2006年**

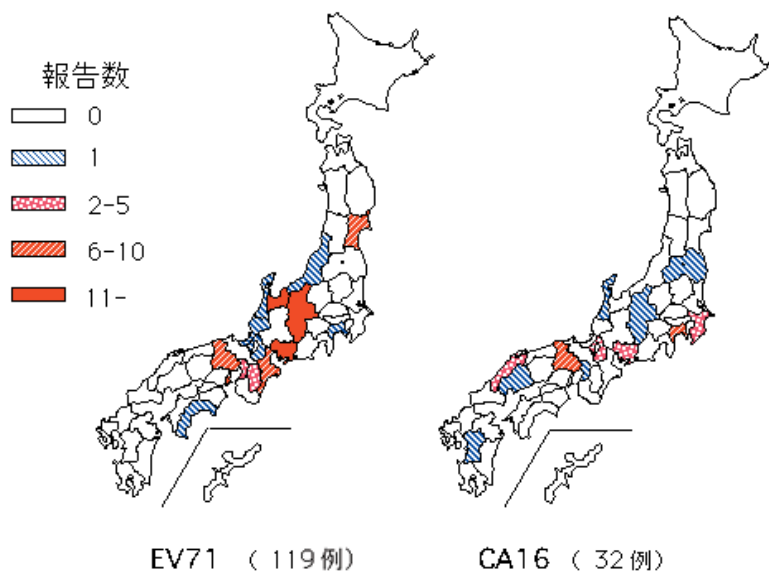
(病原微生物検出情報：2006年8月31日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



**都道府県別手足口病患者からのエンテロウイルス71型&コクサッキーウイルスA16型  
分離・検出報告状況、2006年** (病原微生物検出情報：2006年8月31日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。





## 日本のAIDS患者・HIV感染者の状況

厚生労働省健康局疾病対策課  
平成18年8月22日

### エイズ動向委員会委員長コメント( 要旨 )

#### 【平成18年第2四半期】

1. 今回の報告期間は2006( 平成18 )年3月27日～7月2日までの約3か月である。法定報告に基づき新規HIV感染者報告数は248件( うち男性226件、女性22件。前回報告198件 )で過去最高となった。前年同時期の新規HIV感染者報告数は171件である。  
一方、新規AIDS患者報告数は106件( うち男性97件、女性9件。前回報告92件 )であり、過去2位となった。前年同時期の新規AIDS患者報告数は89件である。
2. 感染経路別に見ると、新規HIV感染者では同性間性的接触によるものが160件( 全HIV感染者報告数の約65% )と最も多く、そのうち152件が日本国籍男性であった。また、異性間性的接触による新規感染者報告数は53件( 全HIV感染者報告数の約21%、うち男性37件、女性16件 )である。  
一方、新規AIDS患者では同性間性的接触によるものが40件( 全AIDS患者報告数の約38% )、異性間性的接触によるものが40件( 全AIDS患者報告数の約38%、うち男性36件、女性4件 )となっている。  
年齢別では、新規HIV感染者は20～30代が多数( 約66% )を占めるが( 前回約77% )、40代～50代以上が占める割合が増えている( 約31% ) ( 前回約22% )。新規AIDS患者は30～50代以上に広く分布している。  
要約すると、感染者・患者とも91%以上を男性が占め、その中でも同性間性的接触による感染が約62%を占めている状態であるが、40代と50歳以上の増加が特徴的であった。
3. 2006( 平成18 )年4月～6月末までの保健所におけるHIV抗体検査件数は20,369件( 前年同時期16,398件 )、自治体が実施する保健所以外の検査件数は5,604件( 前年同時期4,402件 )、保健所等における相談件数は39,317件( 前年同時期34,644件 )となっており、保健所および保健所以外における検査件数、保健所等の相談件数はいずれも前年同時期より増加した。
4. 2006( 平成18 )年1月～6月の献血件数( 速報値 )は2,480,063件( 前年同時期2,725,863件 )で、そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数は48件、10万人当たりの陽性人数は1.935件( 前年同時期1.321件 )であった。前年同時期と比較し、陽性率が高かった。
5. この四半期における新規HIV感染者報告数およびAIDS患者報告数はいずれも前回報告を超え増加傾向にあり、その合計数は過去最高となった。また、保健所および保健所以外における検査件数、保健所等の相談件数においては前年同時期より増加した。新規HIV感

感染者報告数を感染経路別に見ると、男性同性間性的接触は依然半数を超え、若年層にHIV感染が広がっているものの、40代、50歳以上にも増加が認められる。若年層の感染者および患者報告数の増加よりも、40歳以上の感染者および患者報告数が大幅に増加したことは利用者の利便性に配慮した検査・相談事業を推進した結果によるものと思われ、HIV検査普及週間など、検査体制の整備について一定の成果が認められる。各自治体においては保健所等を中心に、利用者の利便性(夜間・休日等)に配慮した検査・相談事業を推進することが重要であり、HIV感染の早期発見による早期治療と感染拡大の抑制に努める必要がある。国民はHIV・AIDSについての理解を深め、積極的に予防に努め、HIV抗体検査の早期受診に努めるべきである。また、各自治体(特に重点都道府県等)においては、今回の発生動向を考慮しつつ、エイズ対策推進協議会を開催し、予防も含めエイズ対策計画を早急に策定の上、より一層のエイズ対策を推進されたい。

( IASR 2006年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )





## 感染症の話

\*\*\*\*\*

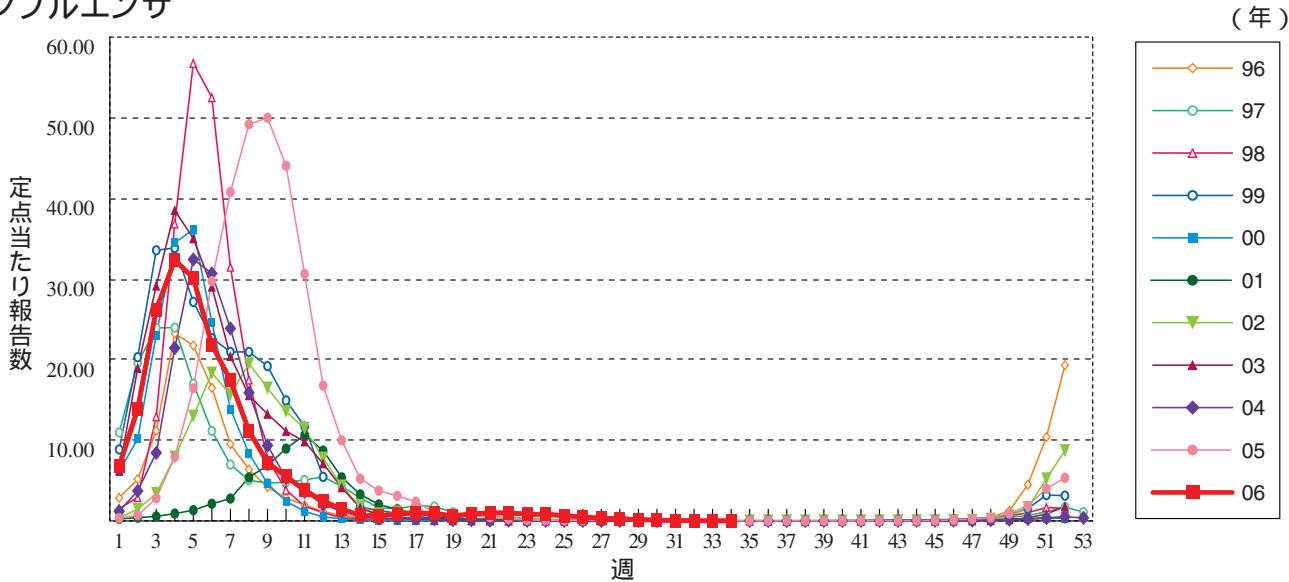
今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>  
でご覧いただけます。

\*\*\*\*\*

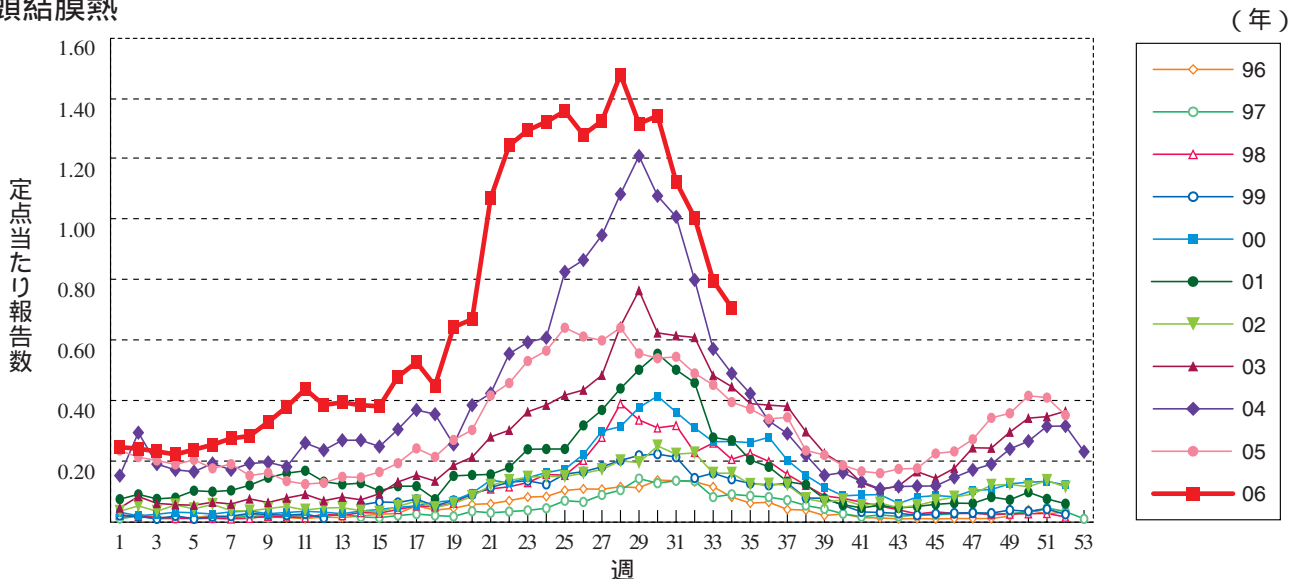


**グラフ総覧( 3 4 週 )**

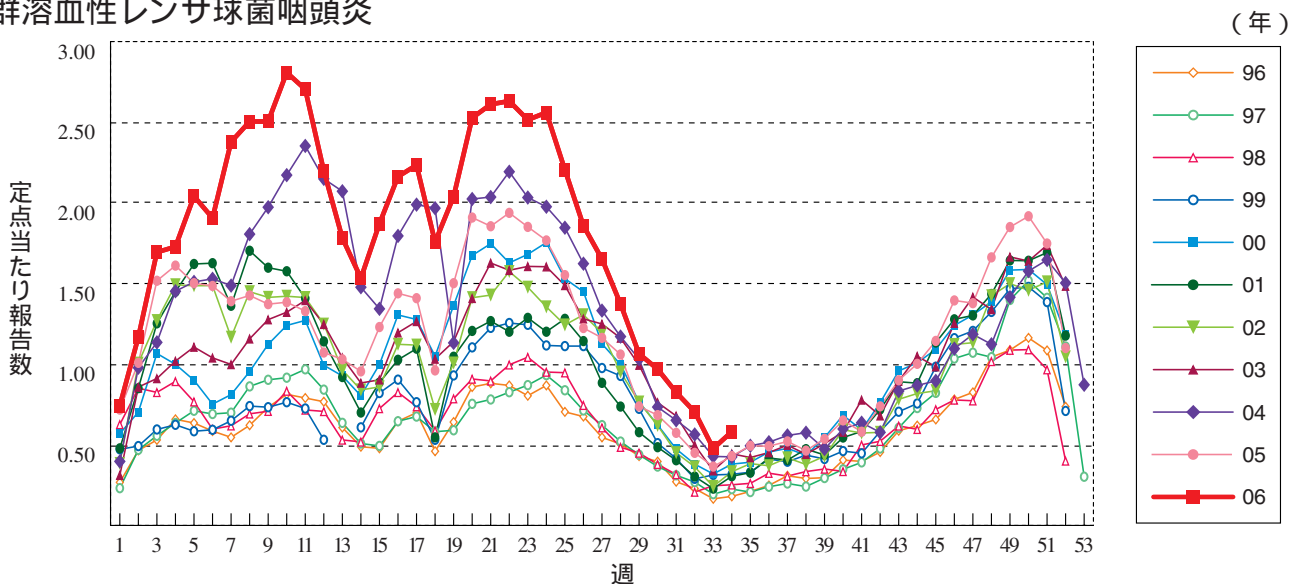
**インフルエンザ**



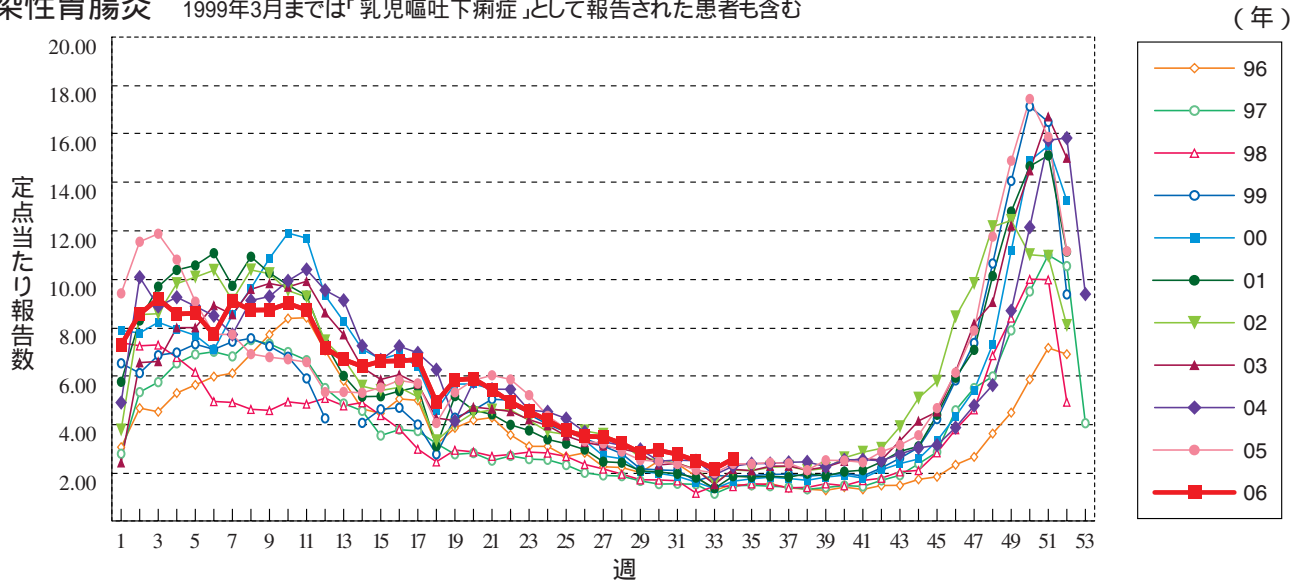
**咽頭結膜熱**



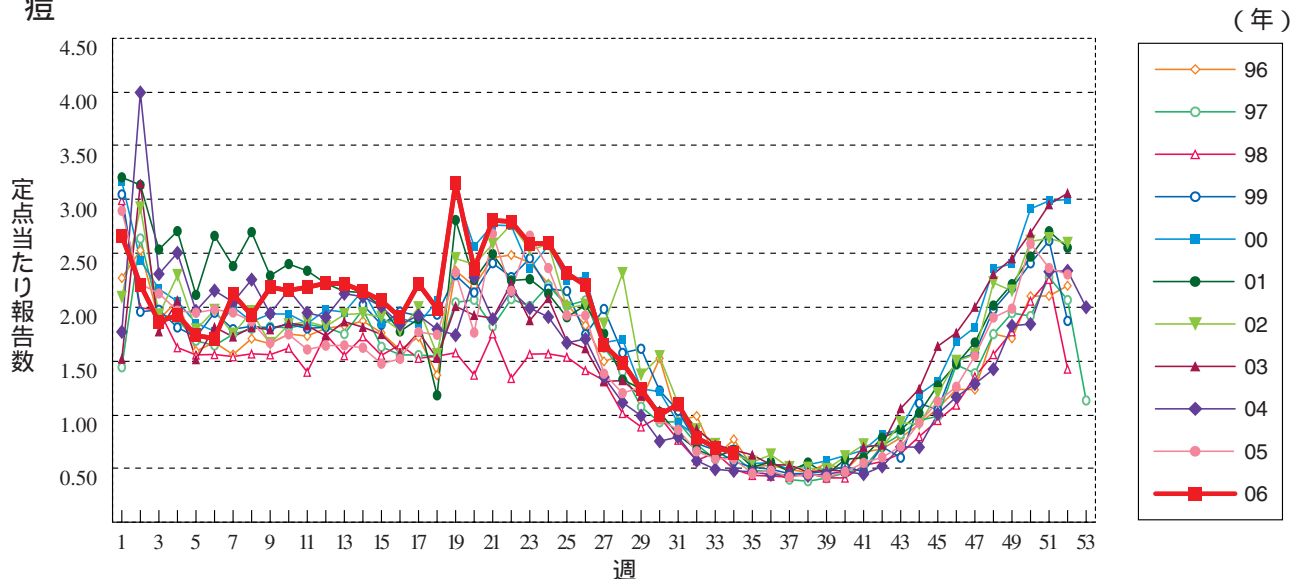
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



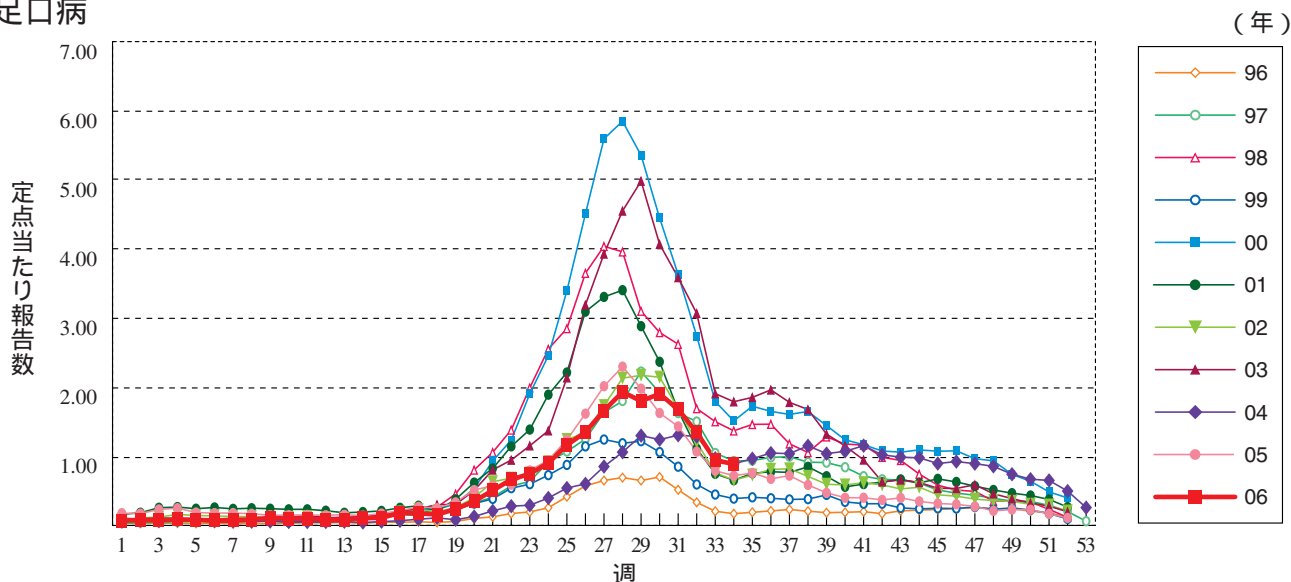
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



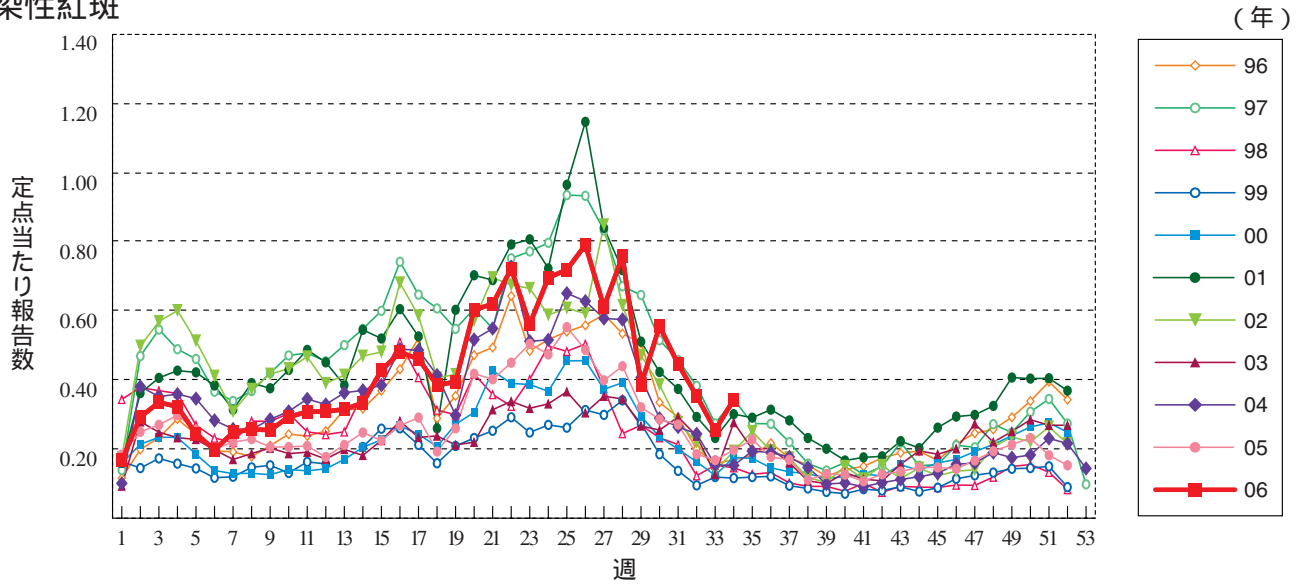
**水痘**



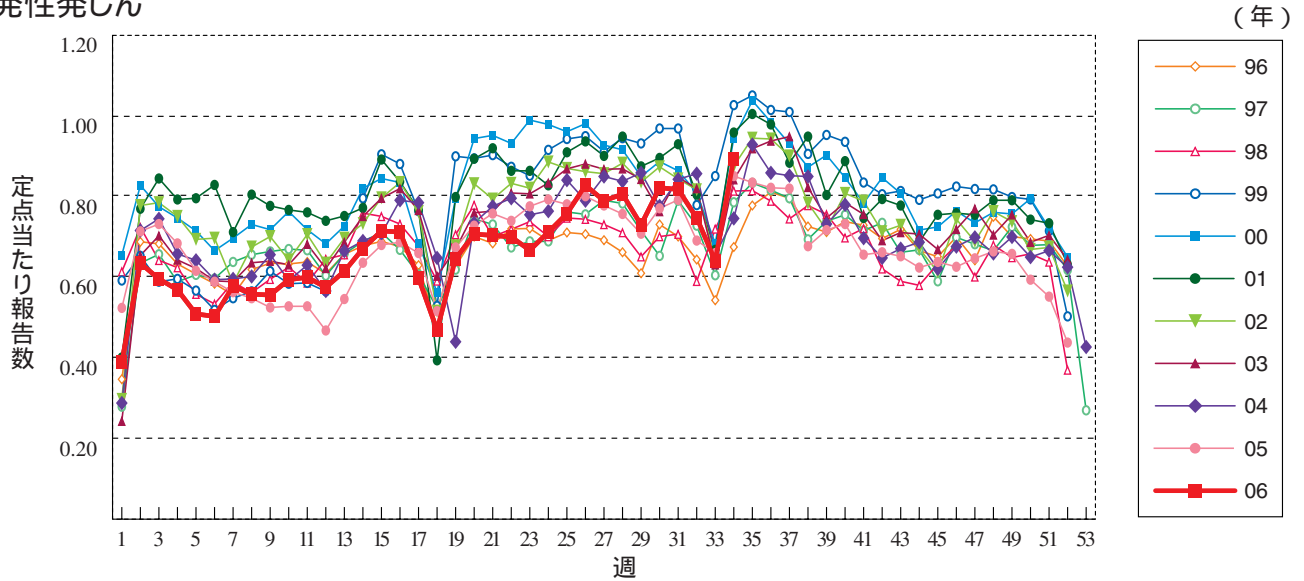
**手足口病**



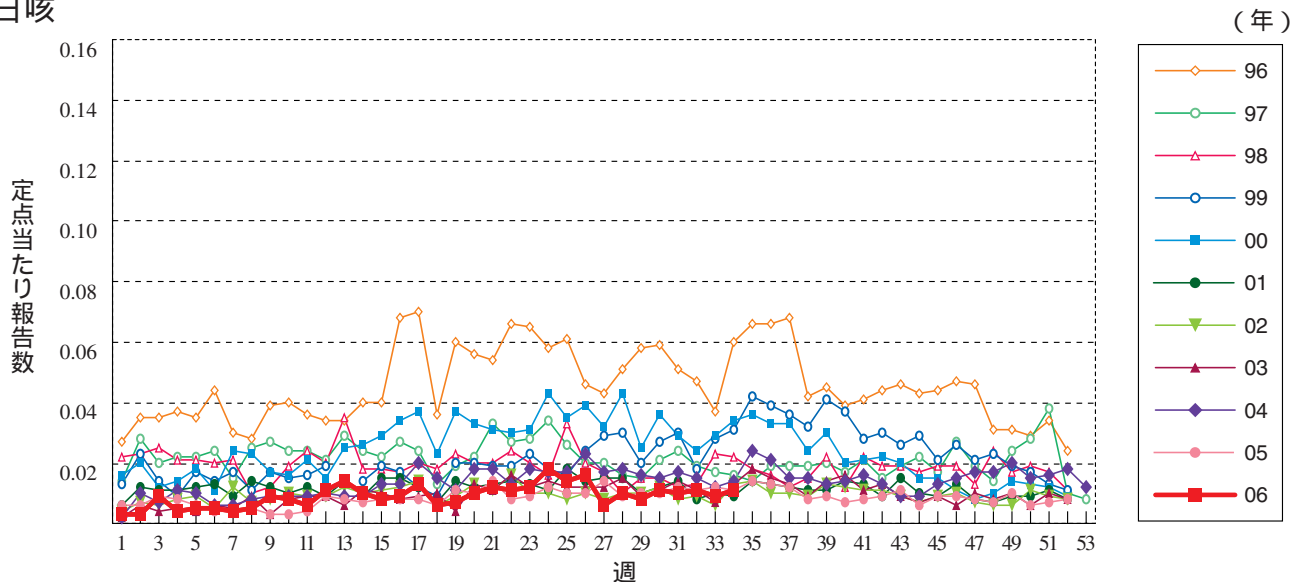
伝染性紅斑



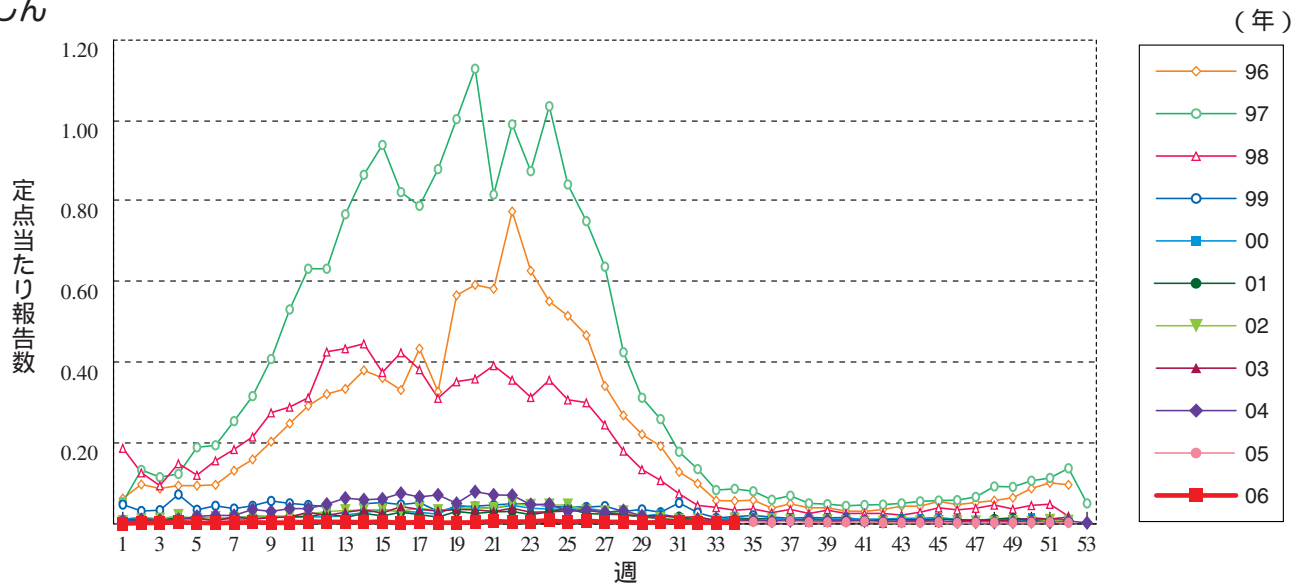
突発性発しん



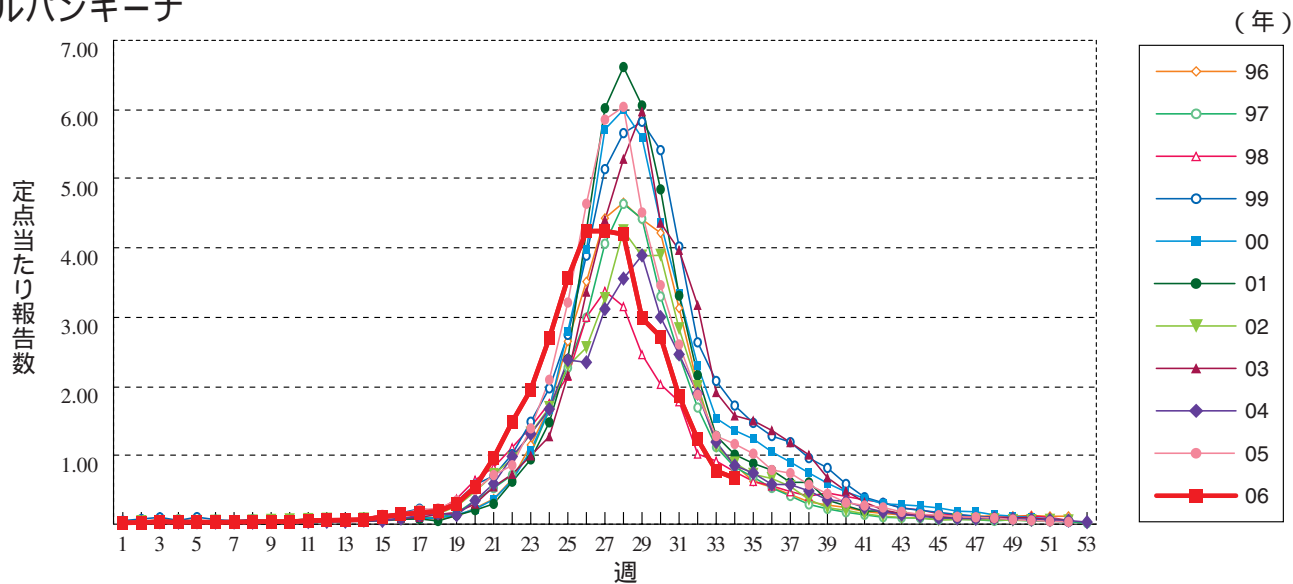
百日咳



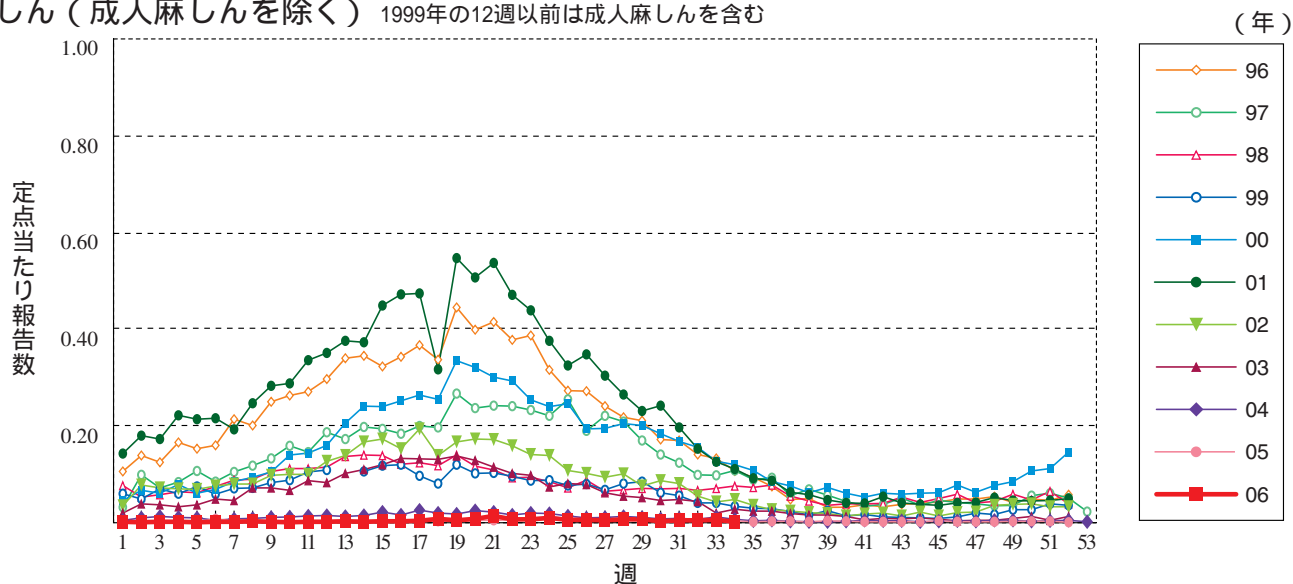
風しん



ヘルパンギーナ

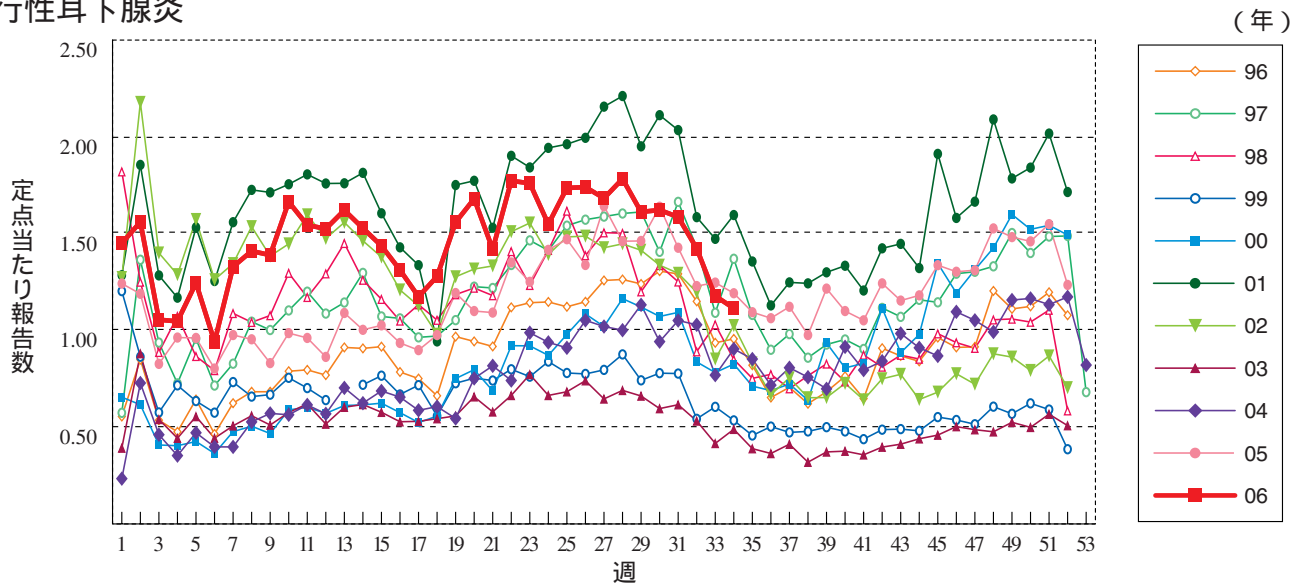


麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む

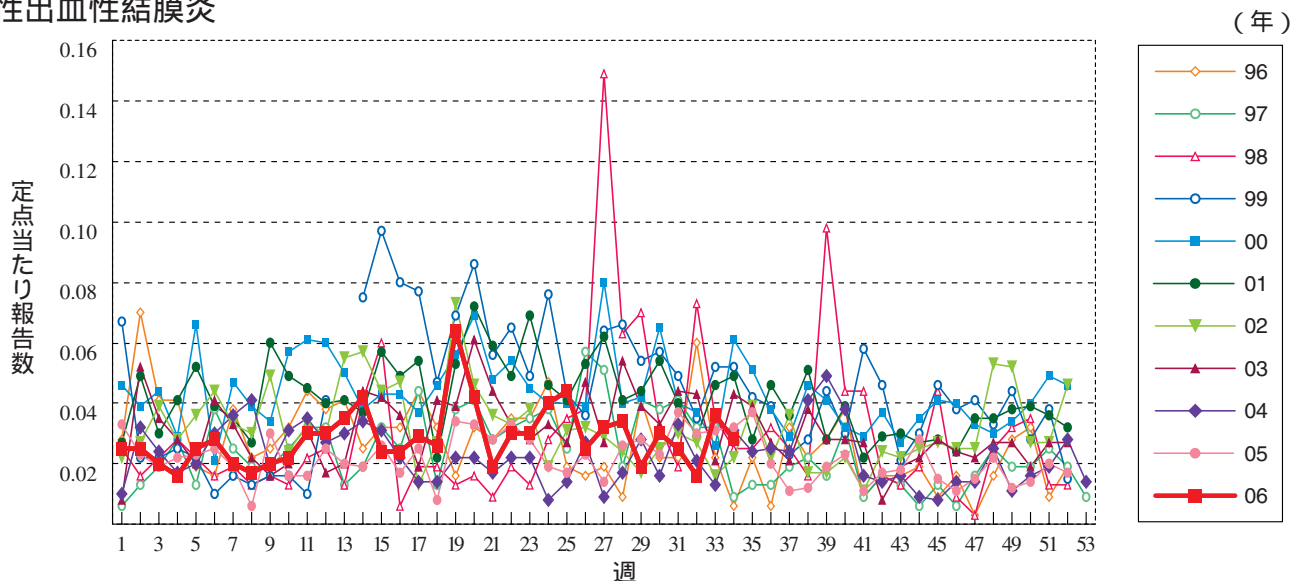




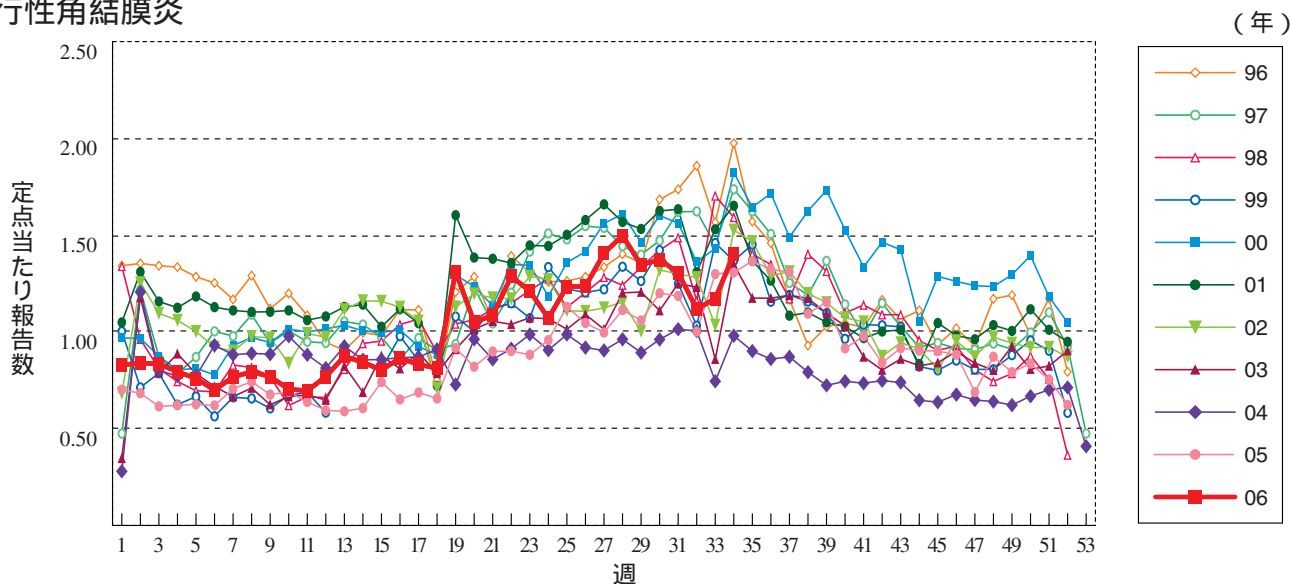
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

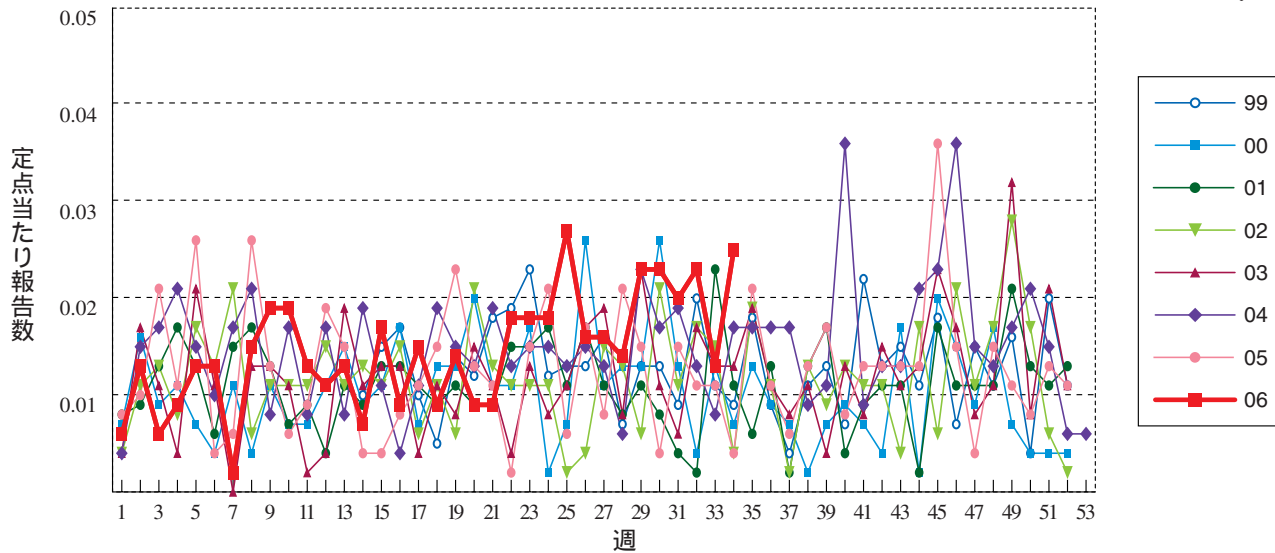


流行性角結膜炎



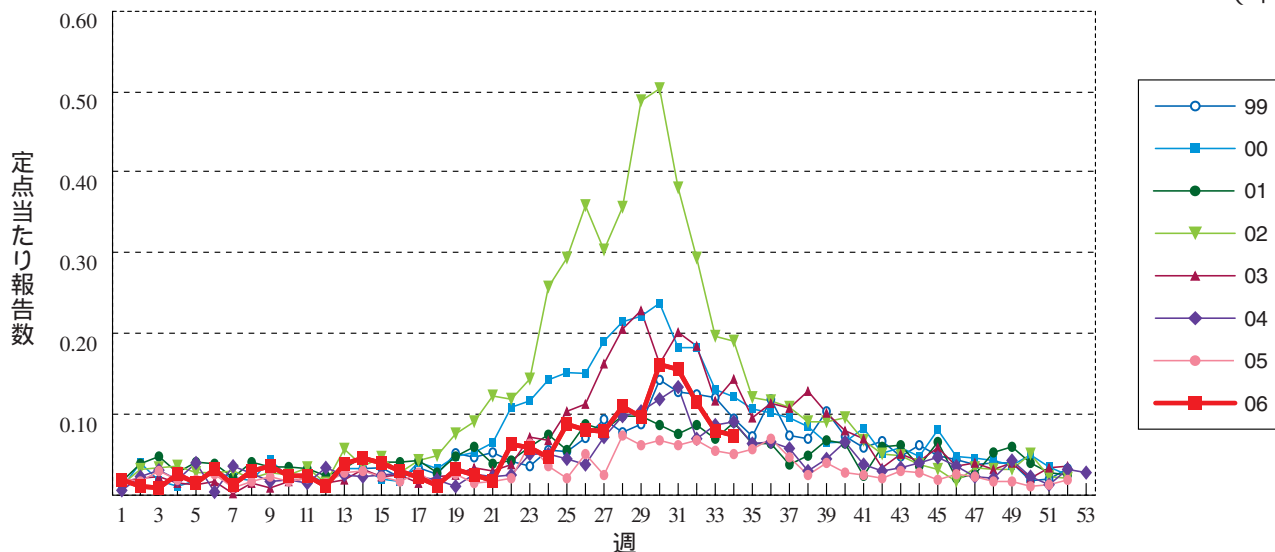
**細菌性髄膜炎**

(年)



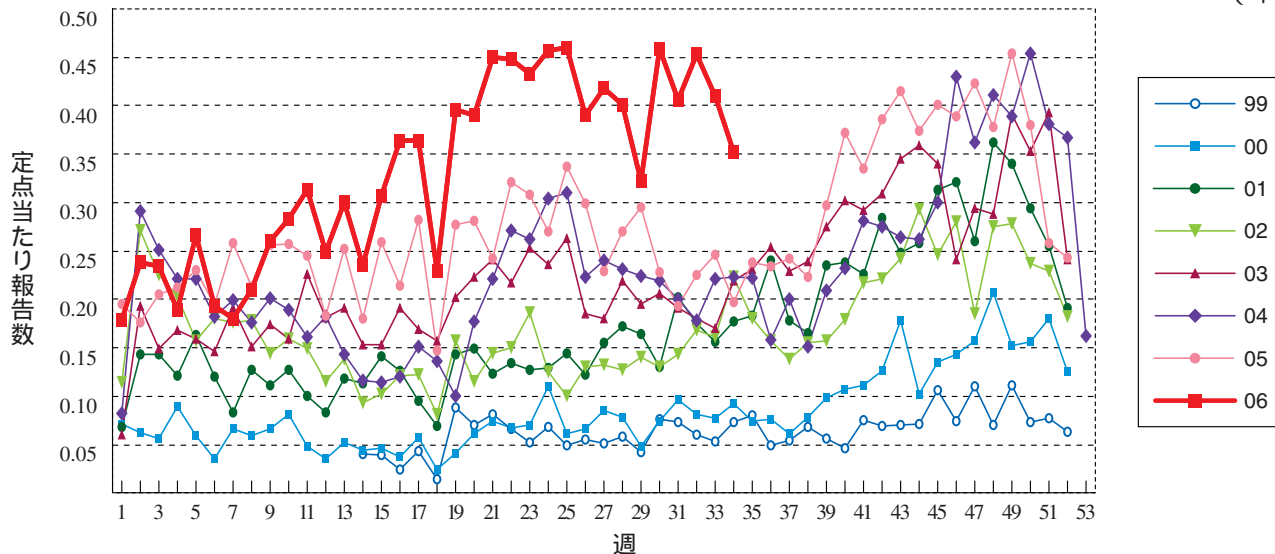
**無菌性髄膜炎**

(年)



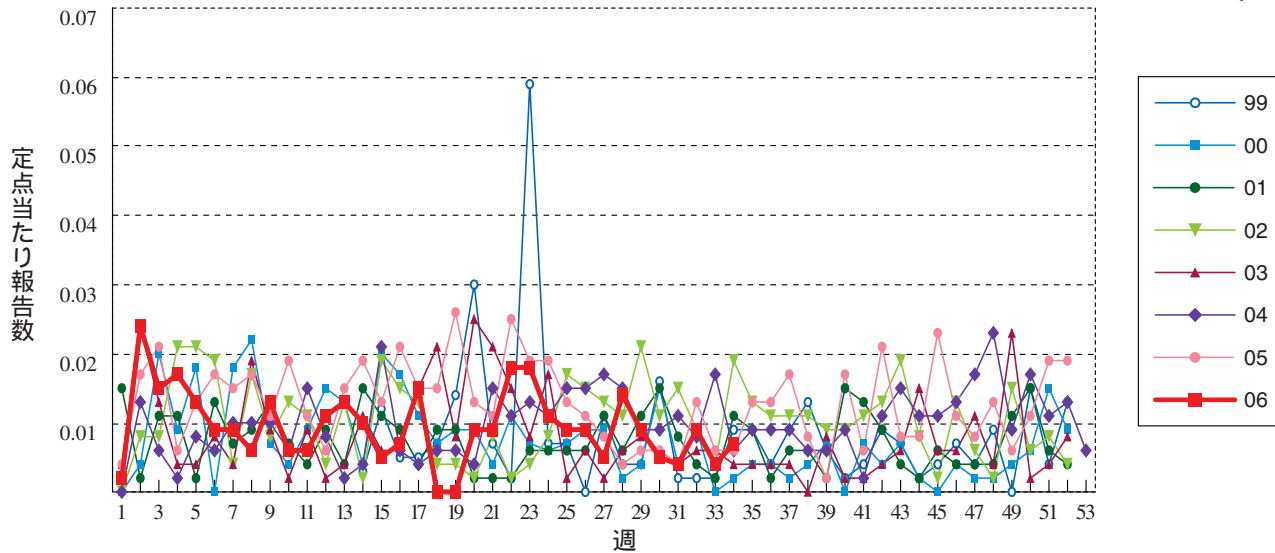
**マイコプラズマ肺炎**

(年)



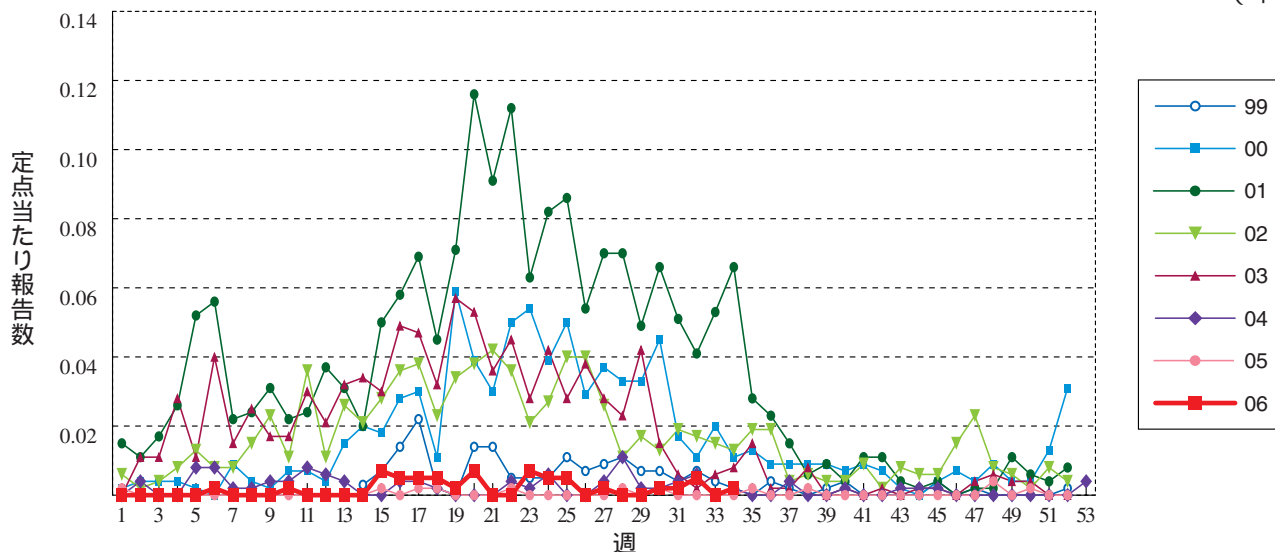
クラミジア肺炎 ( オウム病を除く )

( 年 )



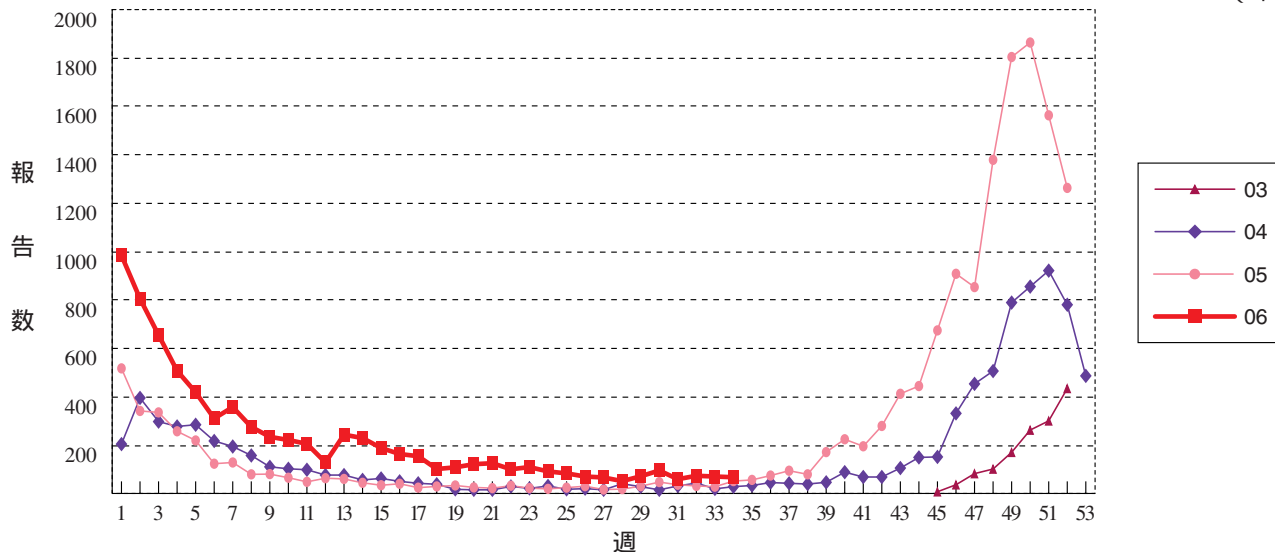
成人麻しん

( 年 )



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

( 年 )





### 34週 of データ

注1) 表中の報告数は8月30日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。  
 2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。  
 注2) また報告システム変更の影響により、この「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。  
 \*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2006年34週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	37
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年34週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	24	282	-	-	-	52	-	16	169	2241	1	46	-	-	-	237	-	15
北海道	1	2	-	-	-	-	-	-	-	36	-	12	-	-	-	12	-	14
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	9	37	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	30	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	38	-	2	-	-	-	4	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	59	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	3	26	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	3	22	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	1	-	-	1	15	-	1	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	3	-	-	-	1	-	-	1	11	-	2	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	4	106	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	8	-	-	-	4	-	-	5	71	-	-	-	-	-	8	-	-
千葉県	4	53	-	-	-	4	-	1	9	86	-	1	-	-	-	3	-	-
東京都	2	37	-	-	-	16	-	10	5	160	-	3	-	-	-	23	-	-
神奈川県	-	13	-	-	-	6	-	1	16	105	-	7	-	-	-	11	-	-
新潟県	1	9	-	-	-	1	-	-	1	13	-	1	-	-	-	15	-	-
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	20	-	1	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	50	-	-	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	2	23	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	6	-	-	-	1	-	1	2	27	1	3	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	81	-	-	-	-	-	8	-	-
静岡県	-	3	-	-	-	1	-	-	3	45	-	-	-	-	-	5	-	-
愛知県	1	20	-	-	-	4	-	2	10	130	-	3	-	-	-	16	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	1	-	1
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	5	31	-	-	-	-	-	2	-	-
京都府	-	1	-	-	-	1	-	-	8	35	-	1	-	-	-	9	-	-
大阪府	9	65	-	-	-	6	-	1	15	193	-	-	-	-	-	31	-	-
兵庫県	-	15	-	-	-	-	-	-	7	106	-	1	-	-	-	19	-	-
奈良県	-	2	-	-	-	-	-	-	4	17	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	20	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61	-	-	-	-	-	14	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	3	61	-	1	-	-	-	7	-	-
山口県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	34	-	1	-	-	-	4	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	1	5	-	-	-	2	-	-	-	13	-	-	-	-	-	4	-	-
高知県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	13	-	-	-	1	-	-	9	119	-	1	-	-	-	7	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	43	-	-	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	9	52	-	-	-	-	-	7	-	-
熊本県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	68	-	4	-	-	-	3	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	1	-	-



報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年34週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	15	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年34週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	1	175	-	30	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年34週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	1	39	-	-	1	4	-	-	6	312	1	2	5	474
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	8
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	1	22
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	1	26
東京都	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	42	1	1	-	121
神奈川県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	45
新潟県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	9	-	-	-	6
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	11
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	24	-	-	-	31
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	6
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	6
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	15
大阪府	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	19	-	1	1	61
兵庫県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	27
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	6
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	5
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	8
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。  
 \*\*ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年34週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	4	171	-	106	1	11	1	102	1	83	10	786	4	64	1	10	-	-
北海道	-	4	-	4	1	3	-	4	-	6	-	20	-	1	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
福島県	-	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	5	-	-	-	1	-	2	1	21	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	5	-	-	-	1	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	3	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	6	-	-	-	4	-	3	-	25	-	1	-	1	-	-
千葉県	1	3	-	15	-	-	-	4	-	6	2	37	1	1	-	-	-	-
東京都	-	22	-	4	-	5	-	11	-	11	6	258	1	18	-	1	-	-
神奈川県	-	7	-	3	-	1	-	7	-	4	-	43	-	7	1	3	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	5	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
富山県	-	3	-	1	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	4	-	1	-	1	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	3	-	2	-	-	-	4	-	-	-	4	-	6	-	-	-	-
長野県	1	7	-	-	-	-	-	1	-	1	-	15	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	2	-	-	1	4	-	5	-	14	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	7	-	3	-	-	-	3	-	8	-	64	-	2	-	1	-	-
三重県	1	9	-	3	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	7	-	1	-	-	-	-
京都府	-	4	-	-	-	-	-	3	-	1	-	21	1	1	-	-	-	-
大阪府	-	19	-	8	-	1	-	6	-	3	1	83	-	10	-	1	-	-
兵庫県	1	17	-	4	-	-	-	4	-	5	-	27	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	6	-	1	-	-	-	-	-	2	-	11	-	3	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	4	-	2	-	-	-	2	-	1	-	6	-	2	-	-	-	-
広島県	-	6	-	7	-	-	-	4	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-
山口県	-	2	-	1	-	-	-	3	1	1	-	3	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	3	-	1	-	-	-	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	6	-	7	-	-	-	5	-	-	-	14	-	3	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年34週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	4	387	3	68	-	-	1	44	-	-
北海道	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	1	11	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	3	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	10	-	6	-	-	-	1	-	-
東京都	-	81	-	6	-	-	-	6	-	-
神奈川県	-	14	-	4	-	-	-	6	-	-
新潟県	-	4	-	2	-	-	-	2	-	-
富山県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	4	-	-	-	-	1	1	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-
静岡県	-	8	1	1	-	-	-	4	-	-
愛知県	1	32	-	2	-	-	-	-	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	7	-	1	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	22	-	2	-	-	-	4	-	-
兵庫県	1	16	-	1	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	3	-	3	-	-	-	1	-	-
広島県	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	21	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	24	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	28	1	3	-	-	-	1	-	-
大分県	-	5	-	2	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	5	1	4	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	12	-	5	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-



\*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年34週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	55	0.01	2110	0.71	1727	0.58	7627	2.56	1924	0.65	2649	0.89	1021	0.34	2660	0.89	32	0.01
北海道	1	0.00	102	0.71	111	0.78	192	1.34	74	0.52	161	1.13	23	0.16	116	0.81	2	0.01
青森県	-	-	6	0.14	16	0.38	47	1.12	41	0.98	31	0.74	8	0.19	37	0.88	-	-
岩手県	1	0.02	3	0.08	11	0.28	67	1.72	15	0.38	18	0.46	14	0.36	21	0.54	-	-
宮城県	4	0.04	14	0.23	37	0.61	154	2.52	35	0.57	39	0.64	48	0.79	73	1.20	-	-
秋田県	-	-	33	0.94	25	0.71	82	2.34	17	0.49	22	0.63	10	0.29	27	0.77	1	0.03
山形県	-	-	23	0.77	27	0.90	33	1.10	21	0.70	50	1.67	7	0.23	35	1.17	-	-
福島県	2	0.03	30	0.63	59	1.23	118	2.46	40	0.83	50	1.04	11	0.23	59	1.23	-	-
茨城県	-	-	46	0.62	62	0.84	90	1.22	43	0.58	26	0.35	25	0.34	44	0.59	-	-
栃木県	2	0.03	16	0.35	18	0.39	54	1.17	16	0.35	53	1.15	12	0.26	28	0.61	1	0.02
群馬県	-	-	59	0.97	24	0.39	156	2.56	46	0.75	50	0.82	11	0.18	50	0.82	-	-
埼玉県	1	0.00	112	0.72	107	0.69	380	2.45	112	0.72	168	1.08	88	0.57	142	0.92	2	0.01
千葉県	1	0.01	59	0.50	63	0.54	212	1.81	87	0.74	72	0.62	60	0.51	102	0.87	2	0.02
東京都	-	-	66	0.47	71	0.51	310	2.21	78	0.56	99	0.71	52	0.37	111	0.79	1	0.01
神奈川県	4	0.01	97	0.52	95	0.51	468	2.52	88	0.47	141	0.76	67	0.36	182	0.98	1	0.01
新潟県	-	-	46	0.77	40	0.67	72	1.20	24	0.40	198	3.30	10	0.17	57	0.95	-	-
富山県	-	-	24	0.83	23	0.79	97	3.34	14	0.48	51	1.76	8	0.28	17	0.59	-	-
石川県	-	-	29	1.00	13	0.45	84	2.90	18	0.62	89	3.07	2	0.07	18	0.62	-	-
福井県	-	-	11	0.50	11	0.50	147	6.68	16	0.73	58	2.64	1	0.05	26	1.18	-	-
山梨県	-	-	7	0.29	5	0.21	28	1.17	4	0.17	29	1.21	10	0.42	8	0.33	-	-
長野県	-	-	104	1.89	34	0.62	122	2.22	46	0.84	166	3.02	7	0.13	47	0.85	-	-
岐阜県	3	0.04	60	1.13	19	0.36	53	1.00	38	0.72	66	1.25	42	0.79	31	0.58	1	0.02
静岡県	-	-	70	0.81	57	0.66	294	3.42	59	0.69	102	1.19	54	0.63	72	0.84	-	-
愛知県	1	0.01	121	0.67	100	0.55	403	2.23	146	0.81	149	0.82	147	0.81	163	0.90	4	0.02
三重県	-	-	54	1.20	25	0.56	223	4.96	38	0.84	73	1.62	26	0.58	60	1.33	-	-
滋賀県	-	-	18	0.56	9	0.28	39	1.22	20	0.63	55	1.72	19	0.59	25	0.78	-	-
京都府	-	-	32	0.46	34	0.49	163	2.33	48	0.69	27	0.39	24	0.34	42	0.60	-	-
大阪府	1	0.00	109	0.60	130	0.71	505	2.76	125	0.68	115	0.63	38	0.21	157	0.86	3	0.02
兵庫県	-	-	44	0.34	66	0.52	353	2.76	66	0.52	110	0.86	29	0.23	113	0.88	3	0.02
奈良県	-	-	47	1.34	24	0.69	59	1.69	16	0.46	24	0.69	2	0.06	30	0.86	1	0.03
和歌山県	-	-	36	1.16	3	0.10	75	2.42	32	1.03	29	0.94	10	0.32	34	1.10	1	0.03
鳥取県	-	-	33	1.74	28	1.47	96	5.05	5	0.26	1	0.05	1	0.05	17	0.89	-	-
島根県	-	-	23	1.00	15	0.65	71	3.09	10	0.43	12	0.52	5	0.22	21	0.91	-	-
岡山県	-	-	19	0.35	12	0.22	130	2.41	30	0.56	28	0.52	6	0.11	33	0.61	-	-
広島県	-	-	37	0.51	32	0.44	228	3.17	35	0.49	13	0.18	21	0.29	66	0.92	-	-
山口県	-	-	45	0.92	51	1.04	185	3.78	22	0.45	16	0.33	7	0.14	65	1.33	-	-
徳島県	-	-	14	0.67	16	0.76	53	2.52	17	0.81	22	1.05	3	0.14	15	0.71	1	0.05
香川県	1	0.02	10	0.31	7	0.22	74	2.31	27	0.84	6	0.19	3	0.09	26	0.81	-	-
愛媛県	-	-	13	0.35	15	0.41	160	4.32	39	1.05	18	0.49	13	0.35	46	1.24	-	-
高知県	-	-	35	1.17	12	0.40	83	2.77	20	0.67	30	1.00	4	0.13	19	0.63	-	-
福岡県	1	0.01	108	0.90	77	0.64	446	3.72	94	0.78	27	0.23	15	0.13	124	1.03	6	0.05
佐賀県	-	-	33	1.43	4	0.17	28	1.22	9	0.39	6	0.26	5	0.22	27	1.17	-	-
長崎県	1	0.01	30	0.68	9	0.20	112	2.55	25	0.57	7	0.16	18	0.41	43	0.98	-	-
熊本県	1	0.01	28	0.58	21	0.44	220	4.58	24	0.50	29	0.60	10	0.21	46	0.96	-	-
大分県	-	-	60	1.67	37	1.03	229	6.36	32	0.89	12	0.33	11	0.31	44	1.22	1	0.03
宮崎県	7	0.12	79	2.14	32	0.86	200	5.41	49	1.32	7	0.19	21	0.57	74	2.00	-	-
鹿児島県	-	-	42	0.75	30	0.54	172	3.07	45	0.80	14	0.25	9	0.16	48	0.86	-	-
沖縄県	23	0.40	23	0.68	10	0.29	60	1.76	18	0.53	80	2.35	4	0.12	19	0.56	1	0.03

\*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年34週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	8	0.00	1979	0.67	5	0.00	3314	1.11	18	0.03	885	1.40	11	0.02	33	0.07	157	0.35
北海道	-	-	303	2.12	-	-	145	1.01	-	-	25	0.86	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	79	1.88	1	0.02	54	1.29	-	-	9	0.82	-	-	-	-	6	1.00
岩手県	-	-	22	0.56	-	-	36	0.92	-	-	17	1.42	-	-	1	0.05	10	0.50
宮城県	-	-	86	1.41	-	-	102	1.67	3	0.25	5	0.42	1	0.08	-	-	5	0.42
秋田県	-	-	38	1.09	-	-	9	0.26	-	-	6	0.86	-	-	-	-	4	0.50
山形県	-	-	15	0.50	-	-	31	1.03	-	-	5	0.63	1	0.10	-	-	5	0.50
福島県	-	-	42	0.88	-	-	59	1.23	-	-	16	1.33	-	-	-	-	2	0.33
茨城県	-	-	62	0.84	-	-	81	1.09	3	0.20	47	3.13	-	-	-	-	3	0.50
栃木県	-	-	23	0.50	-	-	61	1.33	-	-	17	1.42	-	-	-	-	3	0.43
群馬県	-	-	19	0.31	-	-	117	1.92	-	-	54	3.86	1	0.13	2	0.25	7	0.88
埼玉県	-	-	96	0.62	2	0.01	162	1.05	1	0.03	68	1.74	-	-	-	-	5	0.56
千葉県	3	0.03	53	0.45	-	-	85	0.73	-	-	48	1.66	1	0.11	-	-	5	0.56
東京都	-	-	60	0.43	-	-	67	0.48	-	-	11	0.79	-	-	2	0.08	3	0.12
神奈川県	1	0.01	73	0.39	-	-	176	0.95	2	0.05	80	2.05	2	0.29	-	-	1	0.14
新潟県	-	-	35	0.58	-	-	238	3.97	-	-	13	1.30	-	-	-	-	7	0.64
富山県	-	-	40	1.38	-	-	27	0.93	-	-	5	0.71	-	-	-	-	3	0.60
石川県	-	-	15	0.52	-	-	12	0.41	-	-	10	1.43	2	0.40	-	-	1	0.20
福井県	-	-	3	0.14	-	-	5	0.23	-	-	7	2.33	-	-	2	0.33	1	0.17
山梨県	-	-	5	0.21	-	-	34	1.42	-	-	7	0.88	-	-	-	-	5	0.50
長野県	-	-	50	0.91	-	-	137	2.49	1	0.09	37	3.36	-	-	3	0.27	6	0.55
岐阜県	-	-	26	0.49	-	-	17	0.32	1	0.10	8	0.80	-	-	1	0.20	1	0.20
静岡県	-	-	36	0.42	-	-	132	1.53	-	-	30	1.50	-	-	1	0.10	1	0.10
愛知県	-	-	63	0.35	-	-	152	0.84	4	0.11	36	1.03	-	-	-	-	6	0.46
三重県	-	-	47	1.04	-	-	65	1.44	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	15	0.47	-	-	15	0.47	-	-	6	0.86	-	-	1	0.14	-	-
京都府	-	-	32	0.46	-	-	25	0.36	-	-	14	0.78	-	-	4	0.67	1	0.17
大阪府	2	0.01	104	0.57	1	0.01	190	1.04	1	0.02	30	0.65	1	0.10	5	0.50	17	1.70
兵庫県	1	0.01	71	0.55	-	-	199	1.55	-	-	46	1.31	1	0.08	4	0.31	1	0.08
奈良県	-	-	11	0.31	-	-	12	0.34	-	-	3	0.33	-	-	2	0.33	3	0.50
和歌山県	-	-	23	0.74	-	-	43	1.39	-	-	4	1.00	-	-	2	0.18	1	0.09
鳥取県	-	-	20	1.05	-	-	19	1.00	-	-	2	0.67	-	-	1	0.20	1	0.20
島根県	-	-	15	0.65	-	-	56	2.43	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	1	0.02	16	0.30	-	-	52	0.96	-	-	5	0.42	-	-	-	-	3	0.60
広島県	-	-	31	0.43	1	0.01	31	0.43	-	-	30	1.58	-	-	1	0.05	3	0.14
山口県	-	-	47	0.96	-	-	49	1.00	-	-	16	1.78	-	-	-	-	5	0.56
徳島県	-	-	10	0.48	-	-	31	1.48	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	6	0.19	-	-	24	0.75	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	14	0.38	-	-	24	0.65	-	-	23	2.88	-	-	-	-	4	0.67
高知県	-	-	32	1.07	-	-	32	1.07	-	-	2	0.67	1	0.14	-	-	3	0.43
福岡県	-	-	77	0.64	-	-	104	0.87	-	-	68	2.62	-	-	-	-	6	0.40
佐賀県	-	-	16	0.70	-	-	11	0.48	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50
長崎県	-	-	22	0.50	-	-	15	0.34	1	0.13	6	0.75	-	-	-	-	5	0.42
熊本県	-	-	42	0.88	-	-	34	0.71	-	-	23	2.56	-	-	1	0.07	2	0.13
大分県	-	-	19	0.53	-	-	88	2.44	-	-	3	0.60	-	-	-	-	1	0.09
宮崎県	-	-	46	1.24	-	-	63	1.70	1	0.25	11	2.75	-	-	-	-	4	0.57
鹿児島県	-	-	9	0.16	-	-	183	3.27	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	10	0.29	-	-	10	0.29	-	-	11	1.10	-	-	-	-	3	0.43

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2006年34週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	3	0.01	1	0.00	67
北海道	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.40	-	-	1
広島県	-	-	1	0.05	-
山口県	1	0.11	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	6
高知県	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	8
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	16

## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年34週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2006年34週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第8巻 第34号 2006年9月8日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 < 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。